

## 第3回加古川河道整備検討会

### 参考資料-2：事前調査結果（春季）の概要について

目次

- |                  |      |
|------------------|------|
| 1．事前調査結果（春季）の概要  | 2-1  |
| 2．特定種・注目種一覧表     | 2-10 |
| 3．事前調査結果（出現種リスト） | 2-12 |

平成17年7月25日

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

1. 事前調査結果（春季）の概要

(1) 調査目的

環境調査の目的は、掘削区間の生物相の現状を事前に把握し、掘削後の生物相の変化の動向を把握することで、河川環境の保全に役立てることにある。

掘削前の調査は、これまでに調査を環境調査を実施していない箇所・項目や、昨年10月の出水によって現地の状況が変化している可能性に留意しつつ、掘削区間の環境に関する基礎的な情報（「河川水辺の国勢調査」レベルの情報）を調査することにより、現状を把握することを目的とする。

掘削後に行う調査は次年度以降の掘削予定区間全体の中で環境の変化をとらえることを目的とし、調査区間ごとに多様な環境（場）を選定しデータ採取を行う。

(2) 調査項目・日時

調査項目及び日時は、現時点で以下の通り実施している。

表 事前調査実施項目及び実施日時（春季）

調査項目	調査日時	調査時間	備考
植物、相観植生	2005年5月18日～5月21日	昼：9:00～17:00	実施済の対応
希少植物種子または株採取	2005年5月30日	昼：10:00～14:00	カワヂシャ（種子）、フサゲ（種子）、ウماغ（種子・株）の採取・保存
	6月3日	昼：10:00～14:00	
	6月19日	昼：17:00～18:30	
魚介類	2005年6月6日～15日、6月18日～19日	昼：8:00～18:00	
鳥類	2005年5月30日	昼：10:00～18:00 夜：18:30～19:00	
	5月31日	朝：5:00～8:00 昼：8:00～17:30	
	6月1日	朝：4:30～7:00 昼：7:00～18:00	
	6月2日	朝：5:00～7:00 昼：7:00～16:00	
哺乳類、両生類・爬虫類	2005年5月31日	昼：10:00～18:00 夜：18:00～21:00	
	6月1日	昼：8:30～18:00 夜：18:00～21:00	
	6月2日	昼：8:30～18:00 夜：18:00～21:00	
	6月3日	昼：8:30～17:00	
昆虫類	2005年5月23日	昼：10:00～18:00 夜：19:00～21:00	
	5月24日	昼：8:30～18:00 夜：19:00～21:00	
	5月25日	昼：8:30～18:00	
	5月26日	昼：8:30～17:00	
底生動物	2005年6月10日～17日、6月18日～19日	昼：13:00～15:00	
	6月29日～30日、7月2日	昼：9:00～18:00	

(3) 調査区間

調査地区は、加古川直轄管理区間のうち、以下の5区間、7地域を基本とした。

なお、調査内容ごとの区間の詳細は表のとおりとした。

表 調査区間及び地点

調査区間名	記号	事業	陸域		キロポスト	陸域生物	水域生物
			陸域	水域			
加古川下流部	St.1-1	平成18年度以降掘削			4.0～5.4km		
	St.1-2	平成17年度掘削			5.6～7.2km		
	St.1-3	平成17年度高木伐採		×	7.2～8.4km		×
小野市 下大部町	St.2	平成17年度掘削			20.6～21.0km		
		平成18年以降掘削			21.0～21.6km		
社町 上町	St.3	平成17年度掘削			28.8～29.2km		
		平成18年以降掘削			29.2～29.4km		
滝野町 河高	St.4	平成17年度掘削			31.0～31.4km		
		平成18年以降掘削			31.4～31.6km		
滝野町 多井田	St.5	平成17年度掘削			35.4～36.4km		

注) 陸域生物：植物、哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類 水域生物：魚介類、底生生物

(4) 調査方法

調査方法は、調査対象あるいは調査区間ごとの生物相全般を把握するのに適した一般的手法を用いた。

各項目別の調査方法は以下のとおりである。

表 調査方法

項目	調査方法
植物	・植生図作成調査、群落組成調査、植物相調査
魚介類	・投網、タモ網、サデ網、刺網（一枚網）、地引網、小型定置網、はえなわ・カニカゴ、セルびん、潜水観察
底生動物	・定性採集法、定量採集法
鳥類	・ラインセンサス法、定点記録法、任意観察法、集団分布地調査
両生類・爬虫類・哺乳類	(両生類) ・捕獲確認、目撃法、鳴き声確認 (爬虫類) ・捕獲確認、目撃法、フィールドサイン法 (哺乳類) ・目撃法、フィールドサイン法、トラップ法、夜間コウモリ調査
陸上昆虫類	・任意採集法、スウィーピング法、ピーティング法、ペイトトラップ法、ライトトラップ法（カーテン法またはボックス法）

(5) 調査結果の概要

1) 事前調査結果（春季）の概要について、調査区間別に表にとりまとめた。

2) 得られた調査結果のうち、特定種・注目種を選定し、事業による影響、保全対策の必要性等を概略検討し、配慮事項（案）を表にとりまとめた。

特定種・注目種の選定基準は以下のとおりである。

表 特定種・注目種の選定基準

	法律及び文献	選定基準	植物	哺乳類	鳥類	両生類・爬虫類	昆虫類	魚類	底生動物
1	「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)	特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物に指定された動物・植物及び生息地 特天：国指定特別天然記念物 国：国指定天然記念物							
2	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)	種の保存法該当種 希少種：国内希少野生動植物種 緊急種：緊急指定種 生息地等保護区(動物にかかるもの)							
3	「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 1哺乳類」(環境省、平成14年)	絶滅のおそれのある動物種として選定された哺乳類 CR：絶滅危惧 IA類 EN：絶滅危惧 IB類 VU：絶滅危惧 II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群							
4	「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 2鳥類」(環境省、平成14年)	絶滅のおそれのある動物種として選定された鳥類 CR：絶滅危惧 IA類 EN：絶滅危惧 IB類 VU：絶滅危惧 II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群							
5	「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 3爬虫類・両生類」(環境省、平成12年)	絶滅のおそれのある動物種として選定された爬虫類・両生類 CR：絶滅危惧 IA類 EN：絶滅危惧 IB類 VU：絶滅危惧 II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群							
6	「無脊椎動物(昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等)のレッドリストの見直しについて」(環境庁、平成12年)	絶滅のおそれのある動物種として選定された昆虫類等 CR：絶滅危惧 IA類 EN：絶滅危惧 IB類 VU：絶滅危惧 II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群							
7	「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 4汽水・淡水魚類」(環境省、平成15年)	絶滅のおそれのある動物種として選定された汽水・淡水魚類 CR：絶滅危惧 IA類 EN：絶滅危惧 IB類 VU：絶滅危惧 II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群							
8	「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」(水産庁編、平成10年)	日本200海里内の水面及び陸水域に生息する希少な水生生物 危惧：絶滅危惧種 危急：危急種 希少：希少種 減少：減少種 傾向：減少傾向にある種 地域：地域個体群							
9	「改訂・近畿地方の保護上重要な植物 レッドデータブック近畿2001」(レッドデータブック近畿研究会、平成13年)	近畿地方に生育する野生植物 絶滅種：近畿地方では絶滅したと考えられる種類 絶滅危惧種 A：近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種類 絶滅危惧種 B：近い将来における絶滅の危険性が高い種類 絶滅危惧種 C：絶滅の危険性が高くなりつつある種類 準絶滅危惧種：生育条件の変化によっては、「絶滅危惧種」に移行する要素をもつ種類							
10	「近畿地区鳥類レッドデータブック」(江崎・和田編著、平成14年)	近畿地方において絶滅のおそれのある鳥類として選定された種 繁：繁殖個体群の判定 越：越冬個体群の判定 通：通過個体群の判定 滞：夏季滞在個体群の判定 危機：危機的絶滅危惧 絶危：絶滅危惧 準絶：準絶滅危惧 -：特に危険なし 要注目：特に危険なしと判定された種のうち、今後の動向に注目する必要がある種							
11	「改訂・兵庫の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003」(兵庫県、平成15年)	兵庫県下の貴重な自然として選定された生物 今見られない：兵庫県内での確認記録、標本があるなどかつては生育・生息していたと考えられるが、現在は見られなくなり、生息・生育の可能性がないと考えられる種 Aランク：兵庫県内において絶滅の危機に瀕しているなど緊急の保全対策、厳重な保全対策の必要な種 Bランク：兵庫県内において絶滅の危機に瀕している種など、極力生息環境、自生地などの保全が必要な種 Cランク：兵庫県内において存続基盤が脆弱な種 要注目種：最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種 準絶滅危惧種：兵庫県内において存続基盤が脆弱な種 地域限定種：兵庫県全域で見ると貴重とは言えないが、兵庫県内の特定の特定の地域においてはA、B、C、要注目のいずれかのランクに該当する程度の貴重性を有する種							

注) 上記基準以外に、加古川の生物相を特徴づける代表的な種として、注目種(ヌマムツ)を掲げた。

事前調査結果の概要

区間名		環境特性	生物からみた重要な要件（環境・箇所・種等）等	分類	配慮を要する特定種						
加古川下流部	St.1-1～ St.1-3	陸域	<ul style="list-style-type: none"> <li>水際は砂礫河原が広がる</li> <li>中州に帯状分布するヤナギ高木林と、一年生草本、抽水植物を中心とした草本群落広がる</li> <li>高水敷の大部分は河川公園</li> <li>J R 加古川線～加古川堰堤のワンド形状</li> </ul>	植物：中州のまとまったヤナギ高木林、J R 加古川線～加古川堰堤のワンド形状地にみられるカワヂシャ群生、西川合流部の上流部に成立するスゲ群落が特徴的である。 魚介類：瀬や緩流部の抽水植物生育箇所は魚類の産卵場所、緩流部の抽水植物生育箇所、ヤナギの枝に被陰された水面は稚魚の生息場所。タナゴ類の産卵母貝である二枚貝は水路流入部に多く、J R 加古川線～加古川堰堤のワンド形状でも散見される。 哺乳類：生息環境の重要な要件は特にないと判断される。 鳥類：中洲や河岸の草地はセッカ、オオヨシキリの繁殖地、餌場。水際の砂礫地はサギ類、コチドリの餌場、休息地となっている。	植物	カワヂシャ					
		水域	<ul style="list-style-type: none"> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所（D型淵）</li> <li>規模の大きな瀬は下流側に1箇所見られるのみ</li> </ul>	両生類・爬虫類：ワンド形状は、シマヘビの採餌場所かつクサガメ、イシガメの主要な生活場所である。 昆虫類：ヤナギ林は樹上昆虫の生息環境である。ツルヨシなどの草地はジュウサンホシテントウの生息環境として広く分布する。J R 加古川線～加古川堰堤のワンドは止水性のトンボ類の生息環境となっている。 底生動物：水路流入部はイシガイ科の二枚貝類の生息密度が高い。水際はクロダカワニナの生息環境。	植物	ウマスゲ					
	小野市 下大部町	St.2	陸域	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹林、草地、湿地等多様な植生が成立</li> <li>水際に砂礫河原が帯状分布</li> </ul>	植物：凹地に成立する湿性草地在り特徴的であり、特定種が複数みられる。 魚介類：散見される瀬や止水、緩流部の抽水植物生育箇所は魚類の産卵場所や稚魚の生息場所 哺乳類：生息環境の重要な要件は特にないと判断される。 鳥類：砂礫地はサギ類の餌場・休息地及びコチドリ、イカルチドリのも繁殖地、餌場。 両生類・爬虫類：高茎草地及び水溜りは、トノサマガエル、ヌマガエルの産卵場所を含めた主要な生活場所となっている。	植物	フサスゲ				
			水域	<ul style="list-style-type: none"> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所で上流端に規模の大きな瀬が存在</li> </ul>	昆虫類：アベマキ林などの河道内樹林は森林性昆虫の主要な生息環境となっており、調査地中では他にない。 底生動物：瀬は、流水性の水生昆虫の生息場所である。抽水植物生育箇所は、ヨコミゾドロムシの生息場所となっている可能性あり。内岸側の細流・止水は止水性種がみられる。	植物	サイカチ				
		社町 上町	St.3	陸域	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹林は竹林のみ。概ね草地が分布している単調な植生が成立</li> <li>寄洲に広い砂礫河原</li> </ul>	植物：生育環境の重要な要件は特にないと判断される。 魚介類：緩流部の抽水植物生育箇所は魚類の産卵場所や稚魚の生息場所。 哺乳類：堆砂地基盤の寄洲は中型哺乳類（キツネ）の主要な生息場所となっている。 鳥類：寄洲の砂礫河原はシギ・チドリ類の繁殖地・餌場。草地はセッカの繁殖地・餌場。 両生類・爬虫類：生息環境の重要な要件は特にないと判断される。	鳥類	（コチドリ）			
				水域	<ul style="list-style-type: none"> <li>全域が止水で水深が深い場所で3m以上</li> </ul>	昆虫類：生息環境の重要な要件は特にないと判断される。 底生動物：止水、緩流部の草本類が抽水状態で生育する場所は、エビ類、マキガイ類、水生昆虫類が特に多く生息。	魚類	アカザ			
			滝野町 河高	St.4	陸域	<ul style="list-style-type: none"> <li>草地のみの単調な植生が成立</li> <li>水際に砂礫河原が帯状分布</li> </ul>	植物：生育環境の重要な要件は特にないと判断される。 魚介類：緩流部の抽水植物生育箇所は魚類の産卵場所や稚魚の生息場所。 哺乳類：生息環境の重要な要件は特にないと判断される。 鳥類：寄洲の砂礫河原はシギ・チドリ類の繁殖地・餌場。草地はセッカの繁殖地・餌場。 両生類・爬虫類：加古川、千鳥川合流のワンド形状は、クサガメの主要な生活場所。	魚類	アカザ		
					水域	<ul style="list-style-type: none"> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所で規模の大きな瀬は3箇所</li> </ul>	昆虫類：生息環境の重要な要件は特にないと判断される。 底生動物：調査区間に見られる瀬は、カゲロウ類やトビケラ類等の水生昆虫類の主要な生息場所となっている。止水、緩流部の水際は、ホンサナエ等の生息場所となっている。	鳥類	（コチドリ）		
				滝野町 多井田	St.5	陸域	<ul style="list-style-type: none"> <li>左岸の急傾斜地に成立する帯状の竹林</li> <li>河床及び河岸の岩盤</li> <li>小規模な砂礫河原</li> </ul>	植物：砂礫地（中州・寄洲）にカワヂシャの生育場所がある。 魚介類：瀬はアカザ、ヌマムツなどの生息環境のほか、小型魚類の産卵場所と考えられる。 哺乳類：生息環境の重要な要件は特にないと判断される。 鳥類：砂礫河原はシギ・チドリ類の繁殖地、サギ類の餌場。右岸側の草地ではカワセミの餌場。左岸側竹林はサギ類のコロニーがある。	植物	カワヂシャ	
						水域	<ul style="list-style-type: none"> <li>大部分は止水で、小規模な早瀬・平瀬が分布</li> </ul>	両生類・爬虫類：河岸の竹林は、アオダイショウの主要な生活場所。 昆虫類：アオサナエ成虫の産卵が確認されるなど、中上流域の河川環境が存在する。 底生動物：調査区間に見られる瀬は、カゲロウ類、トビケラ類などの水生昆虫類の主要な生息環境となっている。緩流部は、ホンサナエの生息場所となっている。	魚類	アカザ	
					滝野町 多井田	St.5	陸域	<ul style="list-style-type: none"> <li>左岸の急傾斜地に成立する帯状の竹林</li> <li>河床及び河岸の岩盤</li> <li>小規模な砂礫河原</li> </ul>	両生類・爬虫類：河岸の竹林は、アオダイショウの主要な生活場所。 昆虫類：アオサナエ成虫の産卵が確認されるなど、中上流域の河川環境が存在する。 底生動物：調査区間に見られる瀬は、カゲロウ類、トビケラ類などの水生昆虫類の主要な生息環境となっている。緩流部は、ホンサナエの生息場所となっている。	鳥類	（イソシギ）
										魚類	アカザ
										鳥類	（イソシギ）

注) 配慮を要する特定種：

- 1) バックシェードは、本調査において当該区間のみで確認された種を示す。
- 2) ( ) 内の種は、事業特性からみて基本的に効果的な保全対策がないと想定される。

地区別の事前調査結果の概要（春季）(1)-1

1. 加古川下流部

項目	主な確認種	特定種・注目種			国調			調査結果の概要	生物からみた重要な要件（環境・箇所・種等）等
		種名	確認状況 (分布・数・利用・行動等)	国調					
				第1回	第2回	第3回			
植物相・植生	オオタチヤナギ、ジャヤナギ、セイヨウカラシナ、サイカチ、イヌコモチナデシコ、ナギナタガヤ、カワヂシャ、カモジグサ、ネズミムギ、クサヨシ、オオカワヂシャ、ヘラバヒメジョオン、スイバ、ヨモギ、ヘラオオバコ、ハルガヤ、カワラマツバ、フサスゲ、ウマスゲ	カワヂシャ	砂礫河原、堆砂地に多数点在	×			<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種54科203種</li> <li>高水敷に広がる多年生草本群落</li> <li>出水によって増加した砂礫河原</li> <li>人為圧を受けていない地域の大部分を占める一年生草本群落</li> <li>中州に帯状分布するヤナギ高木林</li> <li>J R 加古川線～加古川堰堤のワンド形状</li> <li>西川合流部の上流部に成立するスゲ群落</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中州のヤナギ高木林は調査区間の中では規模の大きいまとまったヤナギ群落である。</li> <li>J R 加古川線～加古川堰堤のワンド形状は現在は水際植生が貧弱であるが、複雑なエコトーンが形成されうる地域である。カワヂシャ群生を確認。</li> <li>西川合流部付近は湿性植物が多い。ウマスゲ生育地。</li> </ul>	
		フサスゲ	河岸、ヤナギ林床に2箇所（各3個体、17個体）、計20個体						
		ウマスゲ	湿性堆砂地4箇所です多数の個体	×	×	×			
		サイカチ	加古川堰堤付近で2個体	×					
魚介類	コイ、ギンブナ、オイカワ、ヌマムツ、モツゴ、カマツカ、コウライニゴイ、コウライモロコ、ギギ、アユ、ブラックバス、アブラボテ、カネヒラ、ウキゴリ、カワアナゴ、カワヒガイ	アブラボテ	ワンドで1個体	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種9科33種</li> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所（D型淵）</li> <li>規模の大きな瀬は下流側に1箇所見られるのみであり、他は水路流入部などに小規模な瀬が見られる程度</li> <li>瀬は水深が30cm程度までと浅く、河床材料は砂礫止水、緩流域は水深が深い場所で2m以上、河床材料は大部分が砂泥中～下流域に生息するコイ科魚類が多い</li> <li>タナゴ類が複数種（アブラボテ、カネヒラ）確認された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間に散見される瀬は、アユやオイカワなどの産卵場所となっている可能性あり。</li> <li>止水、緩流域の草本類が抽水状態で生育する場所は、コイ、フナ類の産卵場所となっている可能性あり。</li> <li>止水、緩流域の浅瀬で稚魚が群泳している状況を確認。特に水際にヤナギ類が生育し、日陰となる場所や、草本類が抽水状態で生育する場所で稚魚を多数確認。</li> <li>タナゴ類に代表される、河川下流域の魚類生息環境（緩流域）がある。</li> </ul>	
		カネヒラ	ワンドで6個体						
		ウキゴリ	ワンド、支川合流部等5箇所17個体	×					
		カワアナゴ	河岸付近1箇所です1個体	×					
		ヌマムツ	本川及びワンドの2箇所です計16個体	×	×				
		カワヒガイ	ワンドで1個体						
		コウライモロコ	本川、ワンド、支川合流部等で計2392個体						
底生動物	イシマキガイ、クロダカワニナ、チリメンカワニナ、トンガリササノハガイ、イシガイ、テナガエビ、ミソレヌマエビ、ミナミヌマエビ、スジエビ、イシガイ科（マツカサガイ類）、クロベンケイガニ、コシダカヒメモノアラガイ、モノアラガイ、ヒラテテナガエビ、	クロダカワニナ	水際の水深の浅い場所です計29個体		×		<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種40科68種</li> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所（D型淵）</li> <li>規模の大きな瀬は下流側に1箇所見られるのみであり、他は水路流入部などに小規模な瀬が見られる程度</li> <li>瀬は水深が30cm程度までと浅く、河床材料は砂礫止水、緩流域は水深が深い場所で2m以上、河床材料は大部分が砂泥河川の下流域に生息する貝類や甲殻類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の下流域が分布の中心となるクロダカワニナは、水際の各所に生息。</li> <li>タナゴ類の産卵母貝となるイシガイ科の二枚貝（トンガリササノハガイ、マツカサガイ類、イシガイ、ドブガイ）は水路流入部で、生息密度が高い。これらの分布の中心は、流入する支流や水路と考えられる。</li> <li>緩流域、ワンド部、支川流入部などに多様な貝類が生息する。</li> </ul>	
		コシダカヒメモノアラガイ	水際の水深の浅い場所です1個体	×	×				
		モノアラガイ	ワンドや水際の水深の浅い場所です計4個体			×			
		トンガリササノハガイ	水路流入部を中心に計18個体			×			
		イシガイ科（マツカサガイ類）	水路流入部です2個体	×	×	×			
		ヒラテテナガエビ	加古川堰堤の魚道です3個体	×	×	×			
		ミソレヌマエビ	水際を中心に計21個体	×					
		クロベンケイガニ	下流側水際部です1個体		×	×			
鳥類	ササゴイ、チュウサギ、オシドリ、ミサゴ、スズメ、ムクドリ、ツバメ、ドバト、ハシボソガラス、ヒバリ、セッカ、オオヨシキリ、ホオジロ、カワラヒワ、カワウ、アオサギ、コチドリ、イカルチドリ、カワセミ、イソシギ、	ササゴイ	8個体、砂礫地や水面で休息、採餌			-	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種22科38種</li> <li>人家周辺に生息する種が多くを占め、繁殖行動も確認された。</li> <li>河川公園の草地や中洲ではヒバリ、セッカ、オオヨシキリといったヨシ原や草地に生息する種が多く、繁殖行動も確認された</li> <li>河川や干潟など水辺環境に生息するサギ類やカワウも中洲や砂礫河原で確認されており、比較的個体数も多い</li> <li>中洲や砂礫河原ではシギ・チドリ類が確認され、巢の確認はできなかったが繁殖している可能性が高いと考えられる</li> <li>調査区間外の下流部（古新堰堤）では冬鳥であるが越夏もしくは渡り途中の個体と考えられる種も確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古新堰堤上流側の中洲と高砂市上水第2取水口付近の草地ではセッカ、オオヨシキリが繁殖、餌場として利用。砂礫地ではサギ類、コチドリが餌場、休息地として利用。</li> <li>加古川河川敷緑地（米田地区）付近の草地ではオオヨシキリが繁殖。砂礫地ではサギ類が餌場、休息地として、コチドリが繁殖、餌場として利用。</li> <li>加古川橋の中洲の砂礫地ではコチドリが繁殖、餌場として利用。</li> <li>J R 加古川線～加古川堰堤のワンド形状の草地ではセッカが繁殖、餌場として利用。砂礫地ではササゴイが餌場、休息地として、コチドリが繁殖、餌場として利用。</li> <li>新加古川橋の中洲の砂礫地ではコチドリ、イカルチドリが繁殖、餌場として利用。</li> </ul>	
		チュウサギ	2個体、砂礫地や水面で休息、採餌			-			
		オシドリ	1個体、水面で休息			×			
		ミサゴ	1個体、河川上空を飛翔			-			
		コチドリ	18個体、砂礫地で休息、採餌、繁殖の可能性あり			-			
		カワセミ	1個体、草地内で休息			-			
		イソシギ	2個体、砂礫地で休息、採餌			-			
		オオヨシキリ	14個体、草地で繁殖行動（さえずり）			-			
		セッカ	16個体、草地で繁殖行動（さえずり）			-			

注1) 国調：当該地区における過年度の河川水辺の国勢調査における記録の有無 : 記録あり × : 記録なし - : 当該区間における調査は実施されていない

注2) 主な確認種中、下線.....の種は特定種・注目種であることを示す

地区別の事前調査結果の概要（春季）(1)-2

1. 加古川下流部

項目	主な確認種	特定種・注目種			国調			調査結果の概要	生物からみた重要な要件（環境・箇所・種等）等
		種名	確認状況 (分布・数・利用・行動等)	確認状況					
					なし	なし	なし		
鳥類								<ul style="list-style-type: none"> <li>左岸側河川敷緑地付近の寄洲の砂礫地ではコチドリ、イカルチドリが繁殖、餌場として利用。草地ではオオヨシキリが繁殖、餌場として利用。</li> <li>加古川水管橋付近の寄洲の草地ではオオヨシキリ、セッカが繁殖、餌場として利用。</li> <li>調査区間最上流部左岸側の寄洲の草地ではオオヨシキリ、セッカが繁殖、餌場として利用。砂礫地ではコチドリが繁殖、餌場として利用。</li> <li>調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所ではサギ類が餌場、休息地として利用。</li> </ul>	
両生・爬虫 ・哺乳類	コウベモウラ、コウモリ（翼手）目の一種、ハツカネズミ、ヌートリア、クサガメ、イシガメ、ミシシippアカミミガメ、シマヘビ、アマガエル、ヌマガエル、ウシガエル	なし	なし		なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は哺乳類4目5科5種、両生類1目2科3種、爬虫類2目2科4種</li> <li>特定種は確認されなかった。</li> <li>外来種はヌートリア（哺乳類）、ウシガエル（両生類）、ミシシippアカミミガメ（爬虫類）の3種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加古川橋下流寄洲のワンド形状は、シマヘビの採餌場所になっていると考えられる。</li> <li>加古川橋付近中州のワンド形状及び水溜りは、クサガメ、イシガメの主要な生活場所になっていると考えられる。</li> </ul>
陸上昆虫類等	アオモンイトトンボ、クロイトトンボ、ハグロトンボ、ヤマサナエ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、アメンボ、ハンノヒメコガネ、ミズギワアメツキ類、ババヒメテントウ、 <u>ジュウサンホシテントウ</u> 、モンキチョウ、モンシロチョウ、ベニシジミ、カタテハ、コムラサキ	ジュウサンホシテントウ	4個体、河岸など草地のヨシ生育地で確認				<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は106科245種</li> <li>目撃種の多くは草地性のチョウ類であった。</li> <li>ワンドではクロイトトンボ、ギンヤンマなどの止水性のトンボ類やアメンボが確認された</li> <li>ヤナギ林では未熟期を樹林で過ごすヤマサナエ、ハグロトンボや、ヤナギを寄主植物とするコムラサキが確認された</li> <li>河川公園の草地などで、特定種のジュウサンホシテントウが確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中州や寄洲に成立するヤナギ林は樹上昆虫の生息環境となっていると考えられる。</li> <li>オオヨシキリの繁殖地となっている草地（ツルヨシ等）はジュウサンホシテントウの生息環境となっていると考えられる。</li> <li>加古川水道管下流左岸の寄洲に成立するワンドは止水性のトンボ類の生息環境となっていると考えられる。</li> </ul>	

注1) 国調：当該地区における過年度の河川水辺の国勢調査における記録の有無 : 記録あり x : 記録なし - : 当該区間における調査は実施されていない

注2) 主な確認種中、下線        の種は特定種・注目種であることを示す

地区別の事前調査結果の概要（春季）(2)

2. 小野市下大部町

項目	主な確認種	特定種・注目種			国調			調査結果の概要	生物からみた重要な要件（環境・箇所・種等）等
		種名	確認状況 (分布・数・利用・行動等)	国調					
				第1回	第2回	第3回			
植物相・植生	オオタチヤナギ、ジャヤナギ、ハリエンジュ、アキニレ、セイヨウカラシナ、サイカチ、カワヂシャ、オオカワヂシャ、オギ、ツルヨシ、カモジグサ、ネズミムギ、クサヨシ、ネザサ、ノイバラ、マダケ、アゼナルコ、シロネ、フサスゲ	カワヂシャ	砂礫地で4箇所、計8個体	×			<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種44科144種</li> <li>多様な植生の成立</li> <li>面積割合の高い樹林域</li> <li>パッチ状に成立する様々な多年生草本群落</li> <li>ツルヨシ群落が消失し、砂礫河原が増加</li> <li>冠水頻度の高い地域の大部分を占める一年生草本群落</li> <li>凹地に成立するスゲ群落</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>凹地に成立するスゲ群落はまとまった面積をもつ湿性草地である。</li> <li>内岸側に、樹林と多年生草本群落による多様なモザイク状の植生が成立。</li> <li>調査地中でサイカチの分布数・生育個体数が最も多い（ただし水際部では根返りする。）</li> </ul>	
		フサスゲ	ヤナギ林林床及び林縁で3箇所（5個体、15個体、4個体）、計24個体	×	×				
		サイカチ	砂礫地、ササ群落内で7箇所、計13個体			×			
魚介類	コイ、アブラボテ、タイリクバラタナゴ、オイカワ、ヌマムツ、カマツカ、コウライニゴイ、コウライモロコ、スジシマドジョウ中型種、ギギ、ブルーギル、ドジョウ、アカザ、メダカ	アブラボテ	下流側護岸沿いで1個体	×			<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種10科25種</li> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所</li> <li>上流端に規模の大きな瀬が存在</li> <li>瀬は水深が平均で50cm程度、河床材料は礫と岩盤</li> <li>止水、緩流域は水深が深い場所で2m以上、河床材料は大部分が砂泥</li> <li>中～下流域に生息するコイ科魚類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間に散見される瀬は、アユやオイカワなどの産卵場所となっている可能性あり。また早瀬にかけてアカザが生息。</li> <li>止水、緩流域の草本類が抽水状態で生育する場所は、コイ、フナ類の産卵場所となっている可能性あり。</li> <li>止水、緩流域の浅瀬で稚魚が群泳している状況を確認。特に草本類が抽水状態で生育する場所周辺で稚魚を多数確認。</li> <li>みお筋～水際にかけて、ヌマムツ、コウライモロコが広く分布。</li> </ul>	
		ドジョウ	下流側緩流部で3個体	×					
		アカザ	瀬で1個体	×	×				
		メダカ	区間中央部護岸沿いで1個体	×					
		ヌマムツ	淵、瀬等緩流部 4箇所計12個体	×	×				
		コウライモロコ	淵、瀬等緩流部で計125個体	×	×				
底生動物	ドブガイ、トンガリササノハガイ、ミナミヌマエビ、キイロカワカゲロウ、オオシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、クロダカワニナ、ヒメマルマメタニシ、ミゾレヌマエビ、マダラコガシラミズムシ、ヨコミゾドロムシ	クロダカワニナ	左岸河川敷に見られる池で1個体		×		<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種38科62種</li> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所</li> <li>上流端に規模の大きな瀬が存在</li> <li>瀬は水深が平均で50cm程度、河床材料は礫と岩盤</li> <li>止水、緩流域は水深が深い場所で2m以上、河床材料は大部分が砂泥</li> <li>中～下流域に生息する貝類やエビ類の他、礫底の瀬に生息するシマトビケラ類やヒゲナガカワトビケラ、河川の緩流部に生息するキイロカワカゲロウ等が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間に見られる瀬は、トビケラ類などの流水性の水生昆虫の生息場所となっている。</li> <li>抽水植物の生育する細流・止水・水際は、多様なエビ・貝類・止水性昆虫の生息環境である。</li> <li>草本類が抽水状態で生育する場所は、ヨコミゾドロムシの生息場所となっている可能性あり。</li> <li>流入する水路及びその上流側の池を中心に、ヒメマルマメタニシが生息している可能性あり。</li> </ul>	
		ヒメマルマメタニシ	水路流入部付近の植物が生育する場所で2個体	×	×	×			
		トンガリササノハガイ	左岸河川敷に見られる池で34個体		×	×			
		ミゾレヌマエビ	下流側右岸水際で5個体	×	×	×			
		マダラコガシラミズムシ	水路流入部付近の植物が生育する場所で1個体	×	×	×			
		ヨコミゾドロムシ	水路流入部付近の植物が生育する場所で1個体	×	×	×			
鳥類	ミサゴ、スズメ、ホオジロ、ウグイス、ツバメ、ホトトギス、ドバト、ムクドリ、ヒヨドリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、キジバト、オオヨシキリ、セッカ、コチドリ、イカルチドリ、カワセミ、コシアカツバメ、アオバト	チュウサギ	4個体、砂礫地や水面で休息、採餌			-	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種19科34種</li> <li>調査区間外の下流部の屋形排水桶門近くにカワセミの古巣が確認された。</li> <li>草地や耕作地に生息する種が多くを占め、繁殖行動も確認された。</li> <li>河川や干潟など水辺環境に生息するサギ類やカワウが調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所で確認された</li> <li>砂礫河原ではシギ・チドリ類が確認された</li> <li>左岸側の竹林ではホトトギスも確認された</li> <li>河川上空を飛翔するミサゴが確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋形排水桶門付近の土の切り崩されている所にカワセミの古巣あり。</li> <li>調査区間左岸側の寄洲の砂礫地では多数のサギ類が餌場、休息地として利用。また、コチドリ、イカルチドリも繁殖、餌場として利用。</li> <li>調査区間左岸側最上流部の草地ではオオヨシキリが繁殖、餌場として利用。</li> <li>調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所ではサギ類、カワウが餌場、休息地として利用。</li> </ul>	
		ミサゴ	1個体、河川上空を飛翔			-			
		コチドリ	5個体、砂礫地で休息、採餌			-			
		ホトトギス	2個体、竹林内でさえずり		×	-			
		カワセミ	2個体、左岸側の樹林際や水面を飛翔			-			
		オオヨシキリ	6個体、草地で繁殖行動（さえずり）			-			
		セッカ	7個体、草地で繁殖行動（ディスプレイ飛翔）			-			
両生・爬虫類 ・哺乳類	コウモリ(翼手)目の一種、ヌートリア、タヌキ、アマガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、クサガメ	なし	なし	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は哺乳類3目3科3種、両生類1目2科3種、爬虫類1目1科1種</li> <li>特定種は確認されなかった</li> <li>外来種はヌートリア（哺乳類）1種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸電鉄橋下流寄洲の樹林、高茎草地及び水溜りは、トノサマガエル、ヌマガエルの産卵場所を含めた主要な生活場所になっていると考えられる。また、水溜りはクサガメにとっても主要な生活場所になっていると考えられる。</li> </ul>	
陸上昆虫類等	シオカラトンボ、コシアキトンボ、トゲヒシバツタ、ヤコンオサムシ、ミズギワゴミムシ類、ベニカミキリ、シロスジカミキリ、コムラハナバチ、クロアゲハ、ナミアゲハ、スジグロシロチョウ、ベニシジミ、カタテハ、コムラサキ、コチャバネセセリ	なし	なし	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は97科258種</li> <li>目撃種の多くは草地性のチョウ類など草地性の種が多かったが、クロアゲハ、シロスジカミキリなどの樹林性の種も確認された</li> <li>湿性草地上空では樹林性のコシアキトンボが確認された</li> <li>ヤナギ林ではヤナギを寄主植物とするコムラサキが確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査地左岸のアベマキの高木林などの樹林は森林性昆虫の主要な生息環境となっていると考えられる。</li> <li>出現種の構成からみて、長期間森林として存在していることが伺える。</li> </ul>	

注1) 国調：当該地区における過年度の河川水辺の国勢調査における記録の有無 : 記録あり × : 記録なし - : 当該区間における調査は実施されていない

注2) 主な確認種中、下線.....の種は特定種・注目種であることを示す

地区別の事前調査結果の概要（春季）(3)

3. 社町上田～滝野町河高

項目	主な確認種	特定種・注目種			調査結果の概要			生物からみた重要な要件（環境・箇所・種等）等
		種名	確認状況 (分布・数・利用・行動等)	国調				
				第1回	第2回	第3回		
植物相・植生	セイヨウカラシナ、カワヂシャ、オギ、カモジグサ、ネズミムギ、ネザサ、ノイバラ、マダケ、クズ	カワヂシャ	砂礫地、竹林内で2箇所、計6個体	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種34科88種</li> <li>比較的単純な植生分布</li> <li>樹林は竹林のみ</li> <li>広い砂礫河原</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カワヂシャの分布は確認されたが、典型的な生育環境ではなく、生育環境の重要な要件は特にないと判断される。</li> </ul>
魚介類	コイ、アブラボテ、ヤリタナゴ、フナ属の一種、オイカワ、ヌマムツ、カマツカ、コウライニゴイ、アブラハヤ、コウライモロコ、メダカギギ、ナマズ、ブルーギル	アブラボテ	下流側護岸沿いで1個体	×	×		<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種7科21種</li> <li>調査区間全域が止水域</li> <li>止水域は水深が深い場所で3m以上、河床材料は大部分が砂泥</li> <li>中～下流域に生息するコイ科魚類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止水、緩流部の草本類が抽水状態で生育する場所は、コイ、フナ類の産卵場所となっている可能性あり。</li> <li>止水、緩流部の浅瀬で稚魚が群泳している状況を確認。特に草本類が抽水状態で生育する場所周辺で稚魚を多数確認。</li> <li>河岸付近に抽水植物の存在する湖は、多くの魚種や底生動物がみられる。</li> <li>平瀬や早瀬にアカザが生息。</li> </ul>
	メダカ	草本類が抽水状態で生育する場所で1個体	×					
	ヌマムツ	下流側緩流部で計2箇所5個体	×	×				
	ヤリタナゴ	草本類が抽水状態で生育する場所で3個体	×					
	アブラハヤ	草本類が抽水状態で生育する場所で3個体	×	×				
	コウライモロコ	緩流部で110個体	×					
底生動物	クロダカワニナ、ミナミヌマエビ、キイロカワカゲロウ、ダビドサナエ属の一種、コオニヤンマ、ユスリカ属の一種、ヒメガムシ、オオトゲエラカゲロウ、ホンサナエ、コオイムシ	クロダカワニナ	草本類が抽水状態で生育する場所で32個体		×		<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種33科45種</li> <li>調査区間全域が止水域</li> <li>止水域は水深が深い場所で3m以上、河床材料は大部分が砂泥</li> <li>中～下流域の流れの緩やかな場所に生息する貝類、エビ類、水生昆虫類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止水、緩流部の草本類が抽水状態で生育する場所は、エビ類、マキガイ類、水生昆虫類が特に多く生息。</li> </ul>
	オオトゲエラカゲロウ	水際で5個体	×	×	×			
	ホンサナエ	植物が水に浸かっている場所で1個体	×	×	×			
	コオイムシ	草本類が抽水状態で生育する場所で5個体	×	×	×			
鳥類	チュウサギ、ミサゴ、ツバメ、スズメ、ヒバリ、ホオジロ、コチドリイカルチドリ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、コゲラ、ムクドリ、キジ、カルガモ、トビ、カワウ、コゲラ、アオアシシギ、カワセミ	チュウサギ	2個体、砂礫地や水面で休息、採餌		×	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種22科30種</li> <li>草地や耕作地に生息する種が多くを占め、繁殖行動も確認された。</li> <li>河川や干潟など水辺環境に生息するサギ類やカワウが調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所で確認された</li> <li>砂礫河原ではシギ・チドリ類、カワセミが確認された</li> <li>右岸側の広葉樹林ではホトトギス、ミサゴが確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間左岸側の寄洲の砂礫河原ではシギ・チドリ類が繁殖、餌場として利用。また、カワセミも餌場として利用。草地ではセッカが繁殖、餌場として利用。</li> <li>調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所ではサギ類、カワウが餌場、休息地として利用。</li> </ul>
	ミサゴ	2個体、右岸側の広葉樹林上空を飛翔		×				
	コチドリ	3個体、砂礫地で休息、採餌、繁殖を示唆する行動(ディスプレイ飛翔、上空を飛翔し警戒)		×				
	アオアシシギ	2個体砂礫地で休息、採餌		×	×			
	カワセミ	3個体、右岸側の樹林際や砂礫地で休息			×			
両生・爬虫・哺乳類	コウベモウラ、コウモリ(翼手)目の一種、アカネズミ、ヌートリア、キツネ、アマガエル、ヌマガエル、クサガメ、マムシ	なし	なし	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は哺乳類4目5科5種、両生類1目2科2種、爬虫類1目2科2種</li> <li>特定種は確認されなかった</li> <li>外来種はヌートリア(哺乳類)1種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福田橋下流寄洲の樹林、竹林、高茎草地(堆砂地が茎盤)は、キツネの主要な生活場所になっていると考えられる。</li> </ul>
陸上昆虫类等	アオモンイトトンボ、シオカラトンボ、ミイデラゴミムシ、ナナホシテントウ、キチョウ、ヒメウラナミジャノメ	なし	なし	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は57科109種</li> <li>目撃種の多くは草地性の種であった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生息環境の重要な要件は特にないと判断される。</li> </ul>

注1) 国調：当該地区における過年度の河川水辺の国勢調査における記録の有無 : 記録あり × : 記録なし - : 当該区間における調査は実施されていない  
 注2) 主な確認種中、下線\_\_\_\_\_の種は特定種・注目種であることを示す



地区別の事前調査結果の概要（春季）(4)

4. 社町上田～滝野町河高

項目	主な確認種	特定種・注目種			国調			調査結果の概要	生物からみた重要な要件（環境・箇所・種等）等
		種名	確認状況 (分布・数・利用・行動等)	国調					
				第1回	第2回	第3回			
植物相・植生	セイヨウカラシナ、オギ、ツルヨシ、ネズミムギ、クサヨシ、ネザサ、ノイバラ	なし	なし	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種27科80種</li> <li>単純な植生分布</li> <li>ほぼ一年生草本によってのみ構成される植生</li> <li>広い造成裸地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生育環境の重要な要件は特にはないと判断される。</li> </ul>	
魚介類	コイ、オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、カワヒガイ、アブラハヤ、カマツカ、コウライニゴイ、コウライモロコ、ギギ、アカザ、アユ	カワヒガイ アカザ ヌマムツ アブラハヤ コウライモロコ	緩流部で1個体 瀬で8個体 上流、下流の2箇所それぞれ1個体 下流側緩流部で22個体 緩流部で295個体	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種7科23種</li> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所規模の大きな瀬は3箇所</li> <li>瀬は水深が平均で50cm程度、河床材料は礫（一部岩盤）</li> <li>止水、緩流域は水深が深い場所で1.5m程度、河床材料は大部分が砂礫（一部岩盤）</li> <li>中～下流域に生息するコイ科魚類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間に見られる瀬は、アユやオイカワなどの産卵場所となっている可能性あり。</li> <li>止水、緩流部の草本類が抽水状態で生育する場所は、コイ、フナ類の産卵場所となっている可能性あり。</li> <li>止水、緩流部の浅瀬で稚魚が群泳している状況を確認。特に草本類が抽水状態で生育する場所周辺で稚魚を多数確認。</li> <li>瀬～淵の区間にアカザ、ヌマムツ、コウライモロコなどが生息する。</li> </ul>	
底生動物	ミズムシ（甲殻綱）、ミナミヌマエビ、キロカワカゲロウ、アカマダラカゲロウ、コオニヤンマ、オオシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、ホンサナエ、コオイムシ	ホンサナエ コオイムシ	水際の緩流部で1個体 水際の緩流部で1個体	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種36科57種</li> <li>大部分は止水もしくは流れの緩やかな場所規模の大きな瀬は3箇所</li> <li>瀬は水深が平均で50cm程度、河床材料は礫（一部岩盤）</li> <li>止水、緩流域は水深が深い場所で1.5m程度、河床材料は大部分が砂礫（一部岩盤）</li> <li>中流域の瀬に生息する水生昆虫類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間に見られる瀬は、カゲロウ類やトビケラ類等の水生昆虫類の主要な生息場所となっている。</li> <li>止水、緩流部の水際は、ミナミヌマエビやホンサナエ等の生息場所となっている。</li> </ul>	
鳥類	チュウサギ、スズメ、セッカ、ツバメ、ヒバリ、キジバト、カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ムクドリ、ウグイス、コチドリ、イカルチドリ、イワツバメ	チュウサギ コチドリ セッカ	1個体、砂礫地や水面で休息、採餌 4個体、砂礫地で休息、採餌、繁殖を示唆する行動（ディスプレイ飛翔、上空を飛翔し警戒） 13個体、草地で繁殖行動（ディスプレイ飛翔）		×	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種17科26種</li> <li>草地や耕作地に生息する種が多くを占め、繁殖行動も確認された</li> <li>河川や干潟など水辺環境に生息するサギ類やカワウが調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所で確認された</li> <li>砂礫河原ではシギ・チドリ類が確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間右岸側の寄洲の草地ではセッカが繁殖、餌場として利用。また、砂礫河原ではコチドリが繁殖、餌場として利用。</li> <li>調査区間左岸側最上流部の寄洲ではサギ類、カワウが餌場、休息地として利用。</li> <li>調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所ではサギ類、カワウが餌場、休息地として利用。</li> </ul>	
両生・爬虫類・哺乳類	コウベモウラ、コウモリ（翼手）目の一種、アカネズミ、ヌートリア、アマガエル、クサガメ、ミシシippアカミミガメ	なし	なし	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は哺乳類4目5科5種、両生類1目1科1種、爬虫類1目1科2種</li> <li>特定種は確認されなかった</li> <li>外来種はヌートリア（哺乳類）、ミシシippアカミミガメ（爬虫類）の2種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加古川、千鳥川合流部下流の寄洲のワンド形状は、クサガメの主要な生活場所になっていると考えられる。</li> </ul>	
陸上昆虫類等	アオモンイトトンボ、ツチイナゴ、コアオハナムグリ、ナナホシテントウ、キオビツヤハナバチ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ベニシジミ、カタテハ、ヒメアカタテハ、ツマグロヒョウモン	なし	なし	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は66科143種</li> <li>目撃種の多くは草地性の種であった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生息環境の重要な要件は特にはないと判断される。</li> </ul>	

注1) 国調：当該地区における過年度の河川水辺の国勢調査における記録の有無 : 記録あり × : 記録なし - : 当該区間における調査は実施されていない

注2) 主な確認種中、下線.....の種は特定種・注目種であることを示す

地区別の事前調査結果の概要（春季）(5)

5. 滝野町多井田

項目	主な確認種	特定種・注目種			調査結果の概要			生物からみた重要な要件（環境・箇所・種等）等
		種名	確認状況 (分布・数・利用・行動等)	国調				
				第1回	第2回	第3回		
植物相・植生	マダケ、ムクノキ、エノキ、カワヂシャ、セイタカアワダチソウ、ネザサ	カワヂシャ	砂礫地で1箇所、30個体、高水敷で2箇所(8個体、15個体)、計23個体	×			<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種64科164種</li> <li>単調な植生分布</li> <li>急傾斜地に成立する帯状の竹林</li> <li>河床及び河岸の岩盤</li> </ul>	カワヂシャの生育する砂礫地(中州・寄州)が帯状に分布する。
魚介類	アブラボテ、オイカワ、コウライニゴイ、カワムツ、ヌマムツ、アブラボテ、ギギ、カワヨシノボリ、カワヒガイ、アブラハヤ、コウライモロコ、アカザ、ナマズ、ウナギ	アブラボテ	緩流部で31個体	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種9科22種</li> <li>大部分は止水であり、流れの緩やかな場所</li> <li>瀬は早瀬、平瀬が分布するが、相対的に小規模</li> <li>瀬は水深が平均で40cm程度、河床材料は礫(一部岩盤)</li> <li>止水、緩流域は水深が深い場所で2m以上、河床材料は大部分が砂礫(一部岩盤)</li> <li>中～下流域に生息するコイ科魚類のほか、ヨシノボリ類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間に見られる瀬は、アユやオイカワなどの産卵場所となっている可能性あり。</li> <li>砂礫河床や岩盤の瀬周辺は、アカザ、ヌマムツなどが生息する。</li> <li>岸寄りの浅い緩流域や支川流入口には、タナゴ類、ヌマムツなどが生息する。</li> </ul>
	ヌマムツ	緩流部で3個体、瀬で1個体	×	×				
	アカザ	早瀬、平瀬等2箇所で6個体	×	×				
	カワヒガイ	緩流部2箇所で2個体、瀬で5個体	×	×	×			
	アブラハヤ	水際緩流部で50個体	×	×				
	コウライモロコ	緩流部で22個体	×	×				
底生動物	ミナミヌマエビ、キイロカワカゲロウ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、ヒゲナガカワトビケラ、モンユスリカ亜科の一種、ホンサナエ、コオイムシ	ホンサナエ	植物が水に浸る水際で1個体	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種41科56種</li> <li>大部分は止水であり、流れの緩やかな場所</li> <li>瀬は早瀬、平瀬が分布するが、相対的に小規模</li> <li>瀬は水深が平均で40cm程度、河床材料は礫(一部岩盤)</li> <li>止水、緩流域は水深が深い場所で2m以上、河床材料は大部分が砂礫(一部岩盤)</li> <li>中流域の瀬に生息する水生昆虫類が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区間に見られる瀬は、カゲロウ類、トビケラ類などの水生昆虫類の主要な生息環境となっている。</li> <li>緩流部の水際は、ホンサナエの生息場所となっている。</li> </ul>
	コオイムシ	植物が水に浸る水際で1個体	×	×	×			
鳥類	カワウ、チュウサギ、ハヤブサ、ツバメ、アオサギ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、ムクドリ、ケリ、カルガモ、キジ、コゲラ、イソシギ、スズメ、カワセミ、シジュウカラ、イカルチドリ	チュウサギ	1個体、砂礫地や水面で休息、採餌		×	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種23科32種</li> <li>左岸側の竹林(エノキ、ムクノキが散立している)にサギ類(主にアオサギ)のコロニーが確認された</li> <li>河川や干潟など水辺環境に生息するサギ類が調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所で確認された。砂礫河原ではシギ・チドリ類、カワセミが確認された</li> <li>右岸側でハヤブサが確認された</li> <li>調査区間上流部の岩盤で多数のカワウが休息しているのが確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬮龍門付近の左岸側寄洲の砂礫河原ではシギ・チドリ類が繁殖、餌場として利用。</li> <li>右岸側の河川に面した草地ではカワセミが餌場として利用。</li> <li>左岸側の竹林(エノキ、ムクノキが散立している)にサギ類(主にアオサギ)のコロニーあり。</li> <li>調査区間全域の砂礫河原や水位の低い所ではサギ類、が餌場、休息地として利用。</li> </ul>
	ハヤブサ	2個体、右岸側の竹林上空付近を2個体が絡み合いながら飛翔(1個体は幼鳥もしくは若鳥)		×		-		
	イソシギ	1個体、砂礫地や水面で休息、採餌			×	-		
	カワセミ	3個体、河川上空を低空で飛翔			×	-		
両生・爬虫類	コウベモウラ、コウモリ(翼手)目の一種、ヌートリア、アマガエル、ヌマガエル、ウシガエル、クサガメ、ミシシッピアカミミガメ、アオダイショウ	なし	なし	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は哺乳類4目4科4種、両生類1目2科3種、爬虫類1目2科3種</li> <li>特定種は確認されなかった</li> <li>外来種はヌートリア(哺乳類)、ウシガエル(両生類)、ミシシッピアカミミガメ(爬虫類)の3種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬮龍橋上流河岸の竹林は、アオダイショウの主要な生活場所になっていると考えられる。</li> <li>鬮龍灘で過去にオオサンショウウオの生息記録があり、本区間にも生息している可能性がある。</li> </ul>
陸上昆虫类等	セスジイトトンボ、アオサナエ、コオイムシ、ヤコンオサムシ、ベニカミキリ、アオスジアゲハ、モンキチョウ、キチョウ、キタテハ、ヒメウラナミジャノメ、チャバネセセリ	アオサナエ	1個体成虫確認	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認種は76科126種</li> <li>目撃種の多くは草地性の種であったが、テングチョウやアオスジアゲハといった樹林性の種も確認された</li> <li>竹林ではベニカミキリが確認された</li> <li>アオサナエの産卵が確認された(中上流域の河川環境)</li> <li>左岸側の水田内を流れる吉鳥川と加古川合流部でコオイムシが確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生息環境の重要な要件は特にないと判断される。</li> </ul>
	コオイムシ	1個体、左岸側の水田を流れる水路内で確認された。	×	×	×			

注1) 国調：当該地区における過年度の河川水辺の国勢調査における記録の有無 : 記録あり × : 記録なし - : 当該区間における調査は実施されていない

注2) 主な確認種中、下線.....の種は特定種・注目種であることを示す

2. 特定種・注目種一覧表

春季調査 植物特定種一覧

科名	和名	種名入力				
ゴマノハグサ科	カワヂシャ	カワヂシャ		準絶滅危惧 (NT)	準	C
マメ科	サイカチ	サイカチ			準	
カヤツリグサ科	フサスゲ	フサスゲ			C	B
	ウマスゲ	ウマスゲ			B	A

: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年 法律第75号)  
 : 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 8植物I(維管束植物)(平成12年7月、環境庁)  
 : 改訂・近畿地方の保護上重要な植物 レッドデータブック近畿2001 (平成13年8月、レッドデータブック近畿研究会)  
 : 改訂・兵庫県の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003 - (平成15年 兵庫県)

春季調査 魚類特定種一覧

目名	科名					
コイ目	コイ科	ヤリタナゴ				B
		アブラボテ				C
		カネヒラ				B
		ヌマムツ				
		アブラハヤ				B
		カワヒガイ			減少種	C
		コウライモロコ				C
	ドジョウ科	ドジョウ				B
ナマズ目	アカザ科	アカザ		絶滅危惧 類(VU)		B
ダツ目	メダカ科	メダカ		絶滅危惧 類(VU)		注
スズキ目	ハゼ科	カワアナゴ(参考)				A
		ウキゴリ				調

: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年 法律第75号)  
 : 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック 4 - 汽水・淡水魚類 -  
 : 日本の希少な野生生物に関するレッドデータブック(平成12年 水産庁)  
 : 改訂・兵庫県の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003 - (平成15年 兵庫県)  
 : 注目種(上記以外の加古川の生物相を特徴付ける代表的な種)

春季調査 底生動物特定種一覧

綱名	目名	科名	和名			
マキガイ綱	ニナ目	カワニナ科	クロダカワニナ		準絶滅危惧	
		エゾマメタニシ科(マメタニシ科)	ヒメマルマメタニシ		絶滅危惧II類	Cランク
	モノアラガイ目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ		情報不足	
ニマイガイ綱	イシガイ目	イシガイ科	トンガリササノハガイ		準絶滅危惧	Aランク
			マツカサガイ類		準絶滅危惧	Cランク
甲殻綱	エビ目	テナガエビ科	ヒラテテナガエビ			Aランク
		ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ			Bランク
		イワガニ科	クロベンケイガニ			Cランク
昆虫綱	カゲロウ目	トビロカゲロウ科	オオトゲエラカゲロウ			要調査種
	トンボ目	サナエトンボ科	ホンサナエ			Bランク
	カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ		準絶滅危惧	要注目種
	コウチュウ目	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ		準絶滅危惧	要注目種
ヒメドロムシ科		ヨコモドロムシ		絶滅危惧I類	要調査種	

: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年 法律第75号)  
 : 「無脊椎動物(昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等)のレッドリストの見直しについて」(環境庁、平成12年)  
 : 日本の希少な野生生物に関するレッドデータブック(平成12年 水産庁)  
 : 改訂・兵庫県の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003 - (平成15年 兵庫県)

春季調査 鳥類特定種一覧

目名	科名	種名 和名				-1	-2			
							繁殖	越冬	通過	
ペリカン	ウ	カワウ								
コウノトリ	サギ	ササゴイ				繁；ランク3	ランク3			C
		チュウサギ		NT		繁；ランク3	ランク3			C
カモ	カモ	オシドリ				繁；ランク3	ランク3	ランク3		C
タカ	タカ	ミサゴ		NT		繁；ランク2	ランク1	ランク2		A
	ハヤブサ	ハヤブサ	A	VU		繁；ランク3	ランク2	ランク3		B
チドリ	チドリ	コチドリ				繁；ランク3	ランク4			要注目
	シギ	アオアシシギ				通；ランク3			ランク3	
		イソシギ				繁；ランク2	ランク1	ランク4		C
カッコウ	カッコウ	ホトトギス				繁；ランク3	ランク3			
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ				繁；ランク3	ランク3	ランク3		B
スズメ	ウグイス	オオヨシキリ				繁；ランク3	ランク2			B
		セッカ				繁；ランク4	ランク3	ランク3		
7目10科13種										

注1) 、 のハヤブサは亜種ハヤブサ

【選定基準】

：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年 法律第75号）  
A = 国内希少野生動植物種 B = 国際希少野生動植物種 C = 特定国内希少野生動植物種  
：改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック2 - 鳥類 -  
（平成14年 環境省）  
EX = 絶滅 EW = 野生絶滅 CR = 絶滅危惧IA類 = 絶滅危惧IB類 VU = 絶滅危惧 類  
NT = 準絶滅危惧 DD = 情報不足 LP = 絶滅のおそれのある地域個体群  
：「緑の国勢調査自然環境保全基礎調査」における主要野生動物  
主要 = 主  
：「第2回自然環境保全基礎調査」における稀少種  
稀少種 = 稀  
-1：「近畿地区・鳥類レッドデータブック-絶滅危惧種判定システムの開発」（山岸哲，2002）掲載種  
-2：「近畿地区・鳥類レッドデータブック-絶滅危惧種判定システムの開発」（山岸哲，2002）掲載種（兵庫県）  
繁 = 繁殖個体群 冬 = 越冬個体群 通 = 通過個体群  
ランク1 = 危機的絶滅危惧 ランク2 = 絶滅危惧 ランク3 = 準絶滅危惧 ランク4 = ラ特に危険なし 要 = 要注目  
：改訂・兵庫県の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003 - （平成15年 兵庫県）  
A = 繁殖個体群のAランク（絶滅危惧 類に相当） B = 繁殖個体群のBランク（絶滅危惧 類に相当）  
C = 繁殖個体群のCランク（準絶滅危惧に相当） 要注目 = 繁殖個体群の貴重種に準ずるもの

春季調査 昆虫類特定種一覧

目名	科名				
トンボ目	サナエトンボ科	アオサナエ			C
カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ			C
コウチュウ目	テントウムシ科	ジュウサンホシテントウ		準絶滅危惧 (NT)	要

：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年 法律第75号）  
：無脊椎動物（昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等）のレッドリストの見直しについて」  
（環境省，平成12年）  
：改訂・兵庫県の貴重な自然 - 兵庫県版レッドデータブック2003 - （平成15年 兵庫県）



表 加古川事前調査結果(植物)(3)

No.	分類	科名	種名(和名)	学名	帰化 逸出	st.1-1	st.1-2	st.1-3	st.2	st.3	st.4	st.5
175		ムラサキ科	ハナイバナ	<i>Bothriospermum tenellum</i>								
176			キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>								
177		クマツツラ科	クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>								
178			ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>	帰							
179			アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>	帰							
180		シソ科	キランソウ	<i>Aloysia decumbens</i>								
181			トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>								
182			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea var. grandis</i>								
183			ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>								
184			オドリコソウ	<i>Lamium barbatum</i>								
185			ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>	帰							
186			シロネ	<i>Lycopus lucidus</i>								
187		ゴマノハグサ科	マツバウンラン	<i>Linaria canadensis</i>	帰							
188			サギゴケ	<i>Mazus miquelii f. albiflorus</i>								
189			トキウハセ	<i>Mazus pumilus</i>								
190			オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	帰							
191			タチヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>	帰							
192			フラサハソウ	<i>Veronica hederifolia</i>	帰							
193			ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i>	帰							
194			オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>	帰							
195			カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>								
196		オオバコ科	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i>								
197			ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>	帰							
198			タチオオバコ	<i>Plantago virginica</i>	帰							
199		スイカズラ科	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>								
200		オミナエシ科	ノヂシヤ	<i>Valeriana olitoria</i>	帰							
201		キキョウ科	キキョウソウ	<i>Specularia perfoliata</i>	帰							
202			ヒナキキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i>	帰							
203		キク科	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia var. elatior</i>	帰							
204			オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	帰							
205			クニンジン	<i>Artemisia annua</i>	帰							
206			ヨモギ	<i>Artemisia indica var. maximowiczii</i>								
207			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	帰							
208			トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>								
209			オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>	帰							
210			オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	帰							
211			ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	帰							
212			ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>								
213			チチヨグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>	帰							
214			キツネアザミ	<i>Hemistepta lyrata</i>								
215			ブタナ	<i>Hypochoeris radicata</i>	帰							
216			ニガナ	<i>Ixeris dentata</i>								
217			アキノナゲシ	<i>Lactuca indica</i>								
218			トゲチシャ	<i>Lactuca scariola</i>	帰							
219			ヤブタバコ	<i>Lapsana humilis</i>								
220			ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>	帰							
221			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	帰							
222			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	帰							
223			ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>								
224			ヒメジョオン	<i>Stenactis annuus</i>	帰							
225			ヘラバヒメジョオン	<i>Stenactis striosus</i>	帰							
226			カンサイタンポポ	<i>Taraxacum japonicum</i>								
227			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	帰							
228			オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>	帰							
229			オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i>								
230	単子葉植物	ユリ科	ノビル	<i>Allium grave</i>								
231			ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i>								
232			ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i>								
233			ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>								
234			キチジョウソウ	<i>Reineckea carnea</i>								
235			サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>								
236		ヤマノイモ科	ナガイモ	<i>Dioscorea batatas</i>	逸							
237			オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>								
238		アヤメ科	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	帰							
239			ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>	帰							
240		イグサ科	イ	<i>Juncus effusus var. decipiens</i>								
241			コウガイゼキショウ	<i>Juncus leschenaultii</i>								
242			ホソイ	<i>Juncus setchuensis var. effusoides</i>								
243			クサイ	<i>Juncus tenuis</i>								
244			コゴメイ	<i>Juncus sp.</i>	帰							
245			スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>								
246		ツククサ科	ツククサ	<i>Commelina communis</i>								
247		イネ科	カモシグサ	<i>Agropyron tsukushiense var. transiens</i>								
248			コヌカグサ	<i>Agrostis alba</i>	帰							
249			ヒメヌカホ	<i>Agrostis canina</i>	帰							
250			ヌカススキ	<i>Aira carvophyllea</i>	帰							
251			スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i>								
252			セトガヤ	<i>Alopecurus japonicus</i>								
253			ヒメハルガヤ	<i>Anthoxanthum aristatum</i>	帰							
254			ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	帰							
255			カラスムギ	<i>Avena fatua</i>	帰							
256			ミノゴメ	<i>Beckmannia svzigachne</i>								
257			ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>	帰							
258			イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>	帰							
259			スズメノチャヒキ	<i>Bromus japonicus</i>	帰							
260			キョウキシバ	<i>Cynodon dactylon</i>	帰							
261			シナダレスメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	帰							

表 加古川事前調査結果(植物)(4)

No.	分類	科名	種名(和名)	学名	帰化 逸出	st.1-1	st.1-2	st.1-3	st.2	st.3	st.4	st.5
262			ニフホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>								
263			オニウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>	帰							
264			トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i>								
265			チガヤ	<i>Imperata cylindrica var. koenigii</i>								
266			ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	帰							
267			ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>	帰							
268			ドクムギ	<i>Lolium temulentum</i>	帰							
269			オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>								
270			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>								
271			コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius var. japonicus</i>								
272			クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>								
273			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>								
274			ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>								
275			セイタカヨシ	<i>Phragmites karka</i>								
276			マダケ	<i>Phyllostachys bambusoides</i>	植							
277			モウソウチク	<i>Phyllostachys pubescens</i>	植							
278			ネザサ	<i>Pleioblastus chino var. viridis</i>								
279			メダケ	<i>Pleioblastus simonii</i>								
280			ミノイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i>								
281			タマシイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca var. submoniliformis</i>								
282			スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>								
283			オオイチゴツナギ	<i>Poa nipponica</i>								
284			イチゴツナギ	<i>Poa sphondyliodes</i>								
285			オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>	帰							
286			ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i>								
287			セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i>	帰							
288			カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i>								
289			ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i>	帰							
290			オオナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros var. hirsuta</i>	帰							
291			マコキ	<i>Zizania latifolia</i>								
292			シバ	<i>Zoysia japonica</i>								
293	ヤシ科		シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	逸							
294	サトイモ科		セキショウ	<i>Acorus gramineus</i>								
295	ウキクサ科		ウキクサ	<i>Spirodela polyrrhiza</i>								
296	ガマ科		ガマ	<i>Typha latifolia</i>								
297	カヤツリグサ科		アオスゲ	<i>Carex breviculmis</i>								
298			アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i>								
299			マスカサ	<i>Carex qibba</i>								
300			ウマスゲ	<i>Carex idzuroei</i>								
301			ジュススゲ	<i>Carex ischnostachya</i>								
302			ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>								
303			フサスゲ	<i>Carex metallica</i>								
304			アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i>								
305			ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i>								
306			メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>	帰							
307			ウキヤガラ	<i>Scirpus vagara</i>								
合計			78科307種			146	140	88	161	132	80	164

表 加古川事前調査結果(魚類)

平成17年6月

No.	目名	科名	種名	学名	St.1-1	St.1-2	St.2	St.3	St.4	St.5
1	ウナギ目	ウナギ科	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>						
2	コイ目	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>						
3	コイ目	コイ科	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>						
4	コイ目	コイ科	ギンブナ	<i>Carassius auratus langsdorfii</i>						
5	コイ目	コイ科	オオキンブナ	<i>Carassius auratus buergeri</i>						
6	コイ目	コイ科	Carassius属の一種	<i>Carassius sp.</i>						
7	コイ目	コイ科	Carassius属の一種	<i>Carassius sp.</i>						
8	コイ目	コイ科	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>						
9	コイ目	コイ科	アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i>						
10	コイ目	コイ科	カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>						
11	コイ目	コイ科	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>						
12	コイ目	コイ科	Rhodeus属の一種	<i>Rhodeus sp.</i>						
13	コイ目	コイ科	ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>						
14	コイ目	コイ科	オイカワ	<i>Zacco platypus</i>						
15	コイ目	コイ科	カワムツ	<i>Zacco temminckii</i>						
16	コイ目	コイ科	ヌマムツ	<i>Zacco sieboldii</i>						
17	コイ目	コイ科	アブラハヤ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>						
18	コイ目	コイ科	ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>						
19	コイ目	コイ科	モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>						
20	コイ目	コイ科	カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>						
21	コイ目	コイ科	Sarcocheilichthys属の一種	<i>Sarcocheilichthys sp.</i>						
22	コイ目	コイ科	ムギツク	<i>Puntunqia herzi</i>						
23	コイ目	コイ科	タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>						
24	コイ目	コイ科	カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>						
25	コイ目	コイ科	ズナガニゴイ	<i>Hemibarbus longirostris</i>						
26	コイ目	コイ科	コウライニゴイ	<i>Hemibarbus labeo</i>						
27	コイ目	コイ科	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>						
28	コイ目	コイ科	Hemibarbus属の一種	<i>Hemibarbus sp.</i>						
29	コイ目	コイ科	イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>						
30	コイ目	コイ科	コウライモロコ	<i>Squalidus chankaensis subsp.</i>						
31	コイ目	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anquilicaudatus</i>						
32	コイ目	ドジョウ科	スジシマドジョウ中型種	<i>Cobitis sp.3</i>						
33	ナマズ目	ギギ科	ギギ	<i>Pseudobaarus nudiceps</i>						
34	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>						
35	ナマズ目	アカザ科	アカザ	<i>Liobagrus reini</i>						
36	サケ目	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>						
37	ダツ目	メダカ科	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>						
38	スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>						
39	スズキ目	サンフィッシュ科	ブラックバス(オオクチバス)	<i>Micropterus salmoides</i>						
40	スズキ目	ハゼ科	カワアナゴ	<i>Eleotris oxycephala</i>						
41	スズキ目	ハゼ科	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>						
42	スズキ目	ハゼ科	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>						
43	スズキ目	ハゼ科	ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius alpinus</i>						
44	スズキ目	ハゼ科	シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.CB</i>						
45	スズキ目	ハゼ科	トウヨシノボリ鱚鱚型	<i>Rhinogobius sp.SF</i>						
46	スズキ目	ハゼ科	カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>						
47	スズキ目	ハゼ科	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>						
48	スズキ目	タイワンドジョウ科	タイワンドジョウ	<i>Channa maculata</i>						
49	スズキ目	タイワンドジョウ科	カムルチー	<i>Channa argus</i>						
合計			計6目11科49種		28	32	27	22	24	23

注)種名及び分類は基本的に「平成12年度版 河川水辺の国勢調査生物種目録」(財団法人リバーフロント整備センター)に従った。

表 加古川事前調査結果（底生動物：6月）

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	St.1-1	St.1-2	St.2	St.3	St.4	St.5	環境省RL	兵庫RDB		
1	普通海綿綱	ザラカイメン目（単骨海綿目）	タンスイカイメン科	タンスイカイメン科の一種	Spongillidae sp.										
2	ウズムシ綱（渦虫綱）	ウズムシ目（三岐腸目）	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	<i>Dugesia japonica</i>										
3	マキガイ綱（腹足綱）	オキナエビスガイ目（原始腹足目）	アマオブネガイ科（+フネアマガイ科）	イシマキガイ	<i>Clithon retropictus</i>										
4		二ナ目（中腹足目）	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）	<i>Pomacea canaliculata</i>										
5			タニシ科	ヒメタニシ	<i>Sinotaia quadrata histrica</i>										
6			カワニナ科	クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i>								準絶滅危惧		
7				チリメンカワニナ	<i>Semisulcospira reiniana</i>										
8				エゾマメタニシ科（マメタニシ科）	ヒメマルマメタニシ	<i>Bithynia kiusiuensis</i>							絶滅危惧II類	Cランク	
9			モノアラガイ目（基眼目）	カワコザラガイ科	カワコザラガイ	<i>Laevapex nipponica</i>									
10				モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	<i>Austropeplea ollula</i>									
11					コシダカヒメモノアラガイ	<i>Galba truncatula</i>								情報不足	
12					ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>									
13					モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>								準絶滅危惧	
14					サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>								
15					ヒラマキガイ科（+インドヒラマキガイ科）	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i>								
16						ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>								
17	ニマイガイ綱（二枚貝綱）		イシガイ目	イシガイ科	ドブガイ（タガイ、ヌマガイ）	<i>Anodonta woodiana</i>									
19					トンガリササノハガイ	<i>Lanceolaria grayana cuspidata</i>								準絶滅危惧	Aランク
20					イシガイ	<i>Unio douglasiae douglasiae</i>									
18					イシガイ科（マツカサガイ類）	Unionidae sp.								準絶滅危惧	Cランク
21		ハマグリ目（マルスタレガイ目）			シジミ科	Corbicula属の一種	<i>Corbicula</i> sp.								
22					ドブシジミ科	ドブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>								
23	ミミズ綱（貧毛綱）	オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	Lumbriculus sp.	<i>Lumbriculus</i> sp.										
24		ナガミミズ目	ミズミミズ科	エラオイミズミミズ	<i>Branchiodrilus hortensis</i>										
25				Dero属の一種	<i>Dero</i> sp.										
26				Nais属の一種	<i>Nais</i> sp.										
27				クロオビミズミミズ	<i>Ophidonais serpentina</i>										
28			イトミミズ科	エラミミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>										
29				ユリミミズ	<i>Limnodrilus hoffmeisteri</i>										
30					イトミミズ科の一種	Tubificidae sp.									
31					ミミズ綱の一種	Oligochaeta sp.									
32	ヒル綱	ウオビル目（吻蛭目）	グロシフォニ科	ハバヒロビル	<i>Glossiphonia weberi lata</i>										
33					ヌマビル	<i>Helobdella stagnalis</i>									
34					アタマビル	<i>Hemiclepsis marginata</i>									
35					咽蛭目	イシビル科	シマイシビル	<i>Erpobdella lineata</i>							
36			ナミイシビル	<i>Erpobdella octoculata</i>											
37				イシビル科の一種			Erpobdellidae sp.								
38		甲殻綱	ワラジムシ目（等脚目）	ミズムシ科	ミズムシ（甲殻綱）	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>									
39	ヨコエビ目（端脚目）		キタヨコエビ科	Jesogammarus属の一種	<i>Jesogammarus</i> sp.										
40			マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>										
41			エビ目（十脚目）	テナガエビ科	ミナミテナガエビ	<i>Macrobrachium formosense</i>									
42					ヒラテナガエビ	<i>Macrobrachium japonicum</i>									Aランク
43					テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>									



表 加古川事前調査結果（底生動物：6月）

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	St.1-1	St.1-2	St.2	St.3	St.4	St.5	環境省RL	兵庫RDB			
44	甲殻綱	エビ目（十脚目）	テナガエビ科	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>											
45			ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	<i>Caridina leucosticta</i>									Bランク		
46					ミナミヌマエビ	<i>Neocaridina denticulata</i>										
47			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>											
48			イワガニ科	クロベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i>										Cランク	
49					モクズガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>										
50					サワガニ科	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>									
51			昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ	<i>Choroterpes altioculus</i>									
52						オオトゲエラカゲロウ	<i>Thraululus grandis</i>									要調査種
53					カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	<i>Potamanthus formosus</i>									
54	モンカゲロウ科	トウヨウモンカゲロウ			<i>Ephemera orientalis</i>											
55	シロイロカゲロウ科	オオシロカゲロウ			<i>Ephoron shigae</i>											
56	ヒメシロカゲロウ科	Caenis属の一種			Caenis sp.											
57	マダラカゲロウ科	エラブタマダラカゲロウ			<i>Torleya japonica</i>											
58		アカマダラカゲロウ			<i>Uracanthella rufa</i>											
59	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ			<i>Baetiella japonica</i>											
60		Hコカゲロウ			<i>Tenuibaetis</i> sp.H											
61		Cloeon属の一種			Cloeon sp.											
62	チラカゲロウ科	チラカゲロウ			<i>Isonychia japonica</i>											
63	ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ			<i>Ecdyonurus yoshidae</i>											
64		エルモンヒラタカゲロウ			<i>Epeorus latifolium</i>											
65	トンボ目（蜻蛉目）	イトトンボ科		Cercion属の一種	Cercion sp.											
66				Ischnura属の一種	Ischnura sp.											
67				カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>										
68				ヤンマ科	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope</i>										
69		コシボソヤンマ			<i>Boyeria maclachlani</i>											
70		サナエトンボ科		ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>											
71				Davidius属の一種（若齢）	Davidius sp.											
72				ホンサナエ	<i>Gomphus postocularis</i>										Bランク	
73				オナガサナエ	<i>Onychogomphus viridicosta</i>											
74				コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>											
75				オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>											
76		エゾトンボ科		オオヤマトンボ	<i>Epophthalmia elegans</i>											
77				コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>											
78		トンボ科		マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum</i>											
79	カメムシ目（半翅目）	アメンボ科		アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>											
80				ヒメアメンボ	<i>Gerris latiauratus</i>											
81		カタビロアメンボ科		Microvelia属の一種	Microvelia sp.											
82				Pseudovelina属の一種	Pseudovelina sp.											
83		ミズムシ科		コチビミズムシ	<i>Micronecta guttata</i>											
84				チビミズムシ	<i>Micronecta sedula</i>											
85	コオイムシ科	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>									準絶滅危惧	要注目種			
86		Appasus属の一種	Appasus sp.													

表 加古川事前調査結果（底生動物：6月）

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	St.1-1	St.1-2	St.2	St.3	St.4	St.5	環境省RL	兵庫RDB			
87	昆虫綱	カメムシ目（半翅目）	タイコウチ科	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>											
88				ヒメミズカマキリ	<i>Ranatra unicolor</i>											
89			マルミズムシ科	マルミズムシ	<i>Paraplea japonica</i>											
90		トビケラ目（毛翅目）	ムネカクトビケラ科	ムネカクトビケラ科	Ecnomus属の一種	<i>Ecnomus</i> sp.										
91				シマトビケラ科	Cheumatopsyche属の一種	<i>Cheumatopsyche</i> sp.										
92				ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>											
93				オオシマトビケラ	<i>Macrostemum radiatum</i>											
94				エチゴシマトビケラ	<i>Potamyia echigoensis</i>											
95				クダトビケラ科	クダトビケラ科の一種	<i>Psychomyiidae</i> sp.										
96				ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>										
97				ヒメトビケラ科	Hydroptila属の一種	<i>Hydroptila</i> sp.										
98				カクツツトビケラ科	Goerodes属の一種	<i>Goerodes</i> sp.										
99				エグリトビケラ科	Nothopsyche属の一種NA	<i>Nothopsyche</i> sp.NA										
100				チョウ目（鱗翅目）	ツトガ科	Parapoynx属の一種	<i>Parapoynx</i> sp.									
101		ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	Antocha属の一種	<i>Antocha</i> sp.											
102				Tipula属の一種	<i>Tipula</i> sp.											
103			ユスリカ科	Procladius属の一種	<i>Procladius</i> sp.											
104				Tanypus属の一種	<i>Tanypus</i> sp.											
105				モンユスリカ亜科の一種	Tanypodinae sp.											
106				Cricotopus属の一種	<i>Cricotopus</i> sp.											
107				セスジユスリカ	<i>Chironomus yoshimatsui</i>											
108				Chironomus属の一種	<i>Chironomus</i> sp.											
109				Cladotanytarsus属の一種	<i>Cladotanytarsus</i> sp.											
110				Cryptochironomus属の一種	<i>Cryptochironomus</i> sp.											
111				Dicrotendipes属の一種	<i>Dicrotendipes</i> sp.											
112				Lipiniella属の一種	<i>Lipiniella</i> sp.											
113				Polypedilum属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.											
114				Stictochironomus属の一種	<i>Stictochironomus</i> sp.											
115				Tanytarsus属の一種	<i>Tanytarsus</i> sp.											
116	ユスリカ亜科の一種			Chironominae sp.												
117	ミズアブ科			Odontomyia属の一種	<i>Odontomyia</i> sp.											
118	ハナアブ科			ハナアブ科の一種	Syrphidae sp.											
119	コウチュウ目（鞘翅目）			ゲンゴロウ科	チビゲンゴロウ	<i>Guignotus japonicus</i>										
120		モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>													
121		コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	<i>Haliplus sharpi</i>								準絶滅危惧	要注目種			
122			コガシラミズムシ	<i>Peltodytes intermedius</i>												
123		ガムシ科	トゲバゴマフガムシ	<i>Berosus lewisius</i>												
124			セマルガムシ	<i>Coelostoma stultum</i>												
125			キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>												
126			ヒメシジミガムシ	<i>Laccobius fragilis</i>												
127			ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>												
128			ガムシ科の一種（幼虫）	Hydrophilidae sp.												
129	ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	<i>Leptelmis gracilis</i>									絶滅危惧 I 類	要調査種			

表 加古川事前調査結果（底生動物：6月）

No.	綱名	目名	科名	和名	学名	St.1-1	St.1-2	St.2	St.3	St.4	St.5	環境省RL	兵庫RDB	
130	昆虫綱	コウチュウ目（鞘翅目）	ヒメドロムシ科	イブシアシナガドロムシ	<i>Stenelmis nipponica</i>									
131				アシナガミゾドロムシ	<i>Stenelmis vulgaris</i>									
132				ヒメドロムシ亜科の一種（幼虫）	Elminae sp.									
133			ヒラタドロムシ科	Eubrianax属の一種	<i>Eubrianax</i> sp.									
134				Mataeopsephus属の一種	<i>Mataeopsephus</i> sp.									
135	コケムシ綱	掩喉目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	<i>Pectinatella magnifica</i>									
	9綱	23目	67科	135種	地点別種数	44	57	65	48	60	59	9種	11種	

：本種はニセマツカサガイか、もしくはマツカサガイのいずれかである。

表 加古川事前調査結果(鳥類)

平成17年5～6月

目	科	種名	学名	渡り区分	平成17年5～6月								
					St.1-1	St.1-2	St.1-3	St.2	St.3	St.4	St.5		
カイツブリ	カイツブリ	1	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis	留鳥								
		2	カンムリカイツブリ	Podiceps cristatus	冬鳥								
		3	カワウ	Phalacrocorax carbo	冬鳥								
		4	コイサギ	Nycticorax nycticorax	留鳥								
		5	ササゴイ	Butorides striatus	夏鳥								
		6	アマサギ	Bubulcus ibis	夏鳥								
		7	ダイサギ	Egretta alba	留鳥								
		8	チュウサギ	Egretta intermedia	夏鳥								
		9	コサギ	Egretta garzetta	留鳥								
		10	アオサギ	Ardea cinerea	留鳥								
カモ	カモ	11	オシドリ	Aix galericulata	冬鳥								
		12	マガモ	Anas platyrhynchos	冬鳥								
		13	カルガモ	Anas poecilorhyncha	留鳥								
		14	ウミアイサ	Mergus serrator	冬鳥								
		15	ミサゴ	Pandion haliaetus	留鳥								
タカ	タカ	16	トビ	Milvus migrans	留鳥								
		17	ハヤブサ	Falco peregrinus	冬鳥								
キジ	キジ	18	コジュケイ	Bambusicola thoracica	留鳥								
		19	キジ	Phasianus colchicus	留鳥								
チドリ	チドリ	20	コチドリ	Charadrius dubius	夏鳥								
		21	イカルチドリ	Charadrius placidus	留鳥								
		22	ケリ	Vanelus cinereus	留鳥								
		23	アオアシシギ	Tringa nebularia	留鳥								
ハト	ハト	24	イソシギ	Actitis hypoleucos	留鳥								
		25	ドバト	Columba livia var. domesticus	留鳥								
		26	キジバト	Streptopelia orientalis	留鳥								
		27	アオバト	Sphenurus sieboldii	留鳥								
		28	ホトトギス	Cuculus poliocephalus	夏鳥								
カッコウ	カッコウ	29	カワセミ	Alcedo atthis	留鳥								
		30	コゲラ	Dendrocopos kizuki	留鳥								
スズメ	ヒバリ	31	ヒバリ	Alauda arvensis	留鳥								
		32	ツバメ	Hirundo rustica	夏鳥								
		33	コシアカツバメ	Hirundo daurica	夏鳥								
	セキレイ	セキレイ	34	イワツバメ	Delichon urbica	夏鳥							
			35	キセキレイ	Motacilla cinerea	留鳥							
			36	ハクセキレイ	Motacilla alba	冬鳥							
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	37	セグロセキレイ	Motacilla grandis	留鳥							
			38	ヒヨドリ	Hypsipetes amaurotis	留鳥							
	モズ	モズ	39	モズ	Lanius bucephalus	留鳥							
			40	ウグイス	Cettia diphone	留鳥							
	ウグイス	ウグイス	41	オオヨシキリ	Acrocephalus arundinaceus	夏鳥							
			42	セッカ	Cisticola juncidis	夏鳥							
	シジュウカラ	シジュウカラ	43	シジュウカラ	Parus major	留鳥							
			44	ホオジロ	Emberiza cioides	留鳥							
	アトリ	アトリ	45	カワラヒワ	Carduelis sinica	留鳥							
46			イカル	Eophona personata	留鳥								
ハタオリドリ	ハタオリドリ	47	スズメ	Passer montanus	留鳥								
		48	ムクドリ	Sturnus cineraceus	留鳥								
カラス	カラス	49	カケス	Garrulus glandarius	留鳥								
		50	ハシボソガラス	Corvus corone	留鳥								
		51	ハシブトガラス	Corvus macrorhynchos	留鳥								
合計					12目25科51種	32	29	30	34	30	26	32	

注1) 種名及び分類は「平成12年度版 河川水辺の国勢調査生物種目録」(財団法人リバーフロント整備センター)に従った。  
 注2) 渡り区分は「兵庫県の野鳥」(兵庫県、1995年)、「日本の野鳥590」(平凡社、2000年)による。

表 加古川事前調査結果(哺乳類)

平成17年5～6月

目名	科名	種名	学名	St.1			St.2	St.3	St.4	St.5	備考
				St.1-1	St.1-2	St.1-3					
1	モグラ	モグラ	コウベモグラ	Mogera mogura							
2	コウモリ	-	コウモリ(翼手)目の一種	CHIROPTERA sp.							
3	ネズミ	ネズミ	アカネズミ	Apodemus speciosus							
4	ネコ	ヌートリア	ハツカネズミ	Mus musculus							
5			ヌートリア	Myocastor coypus							外来種
6	イヌ	イヌ	タヌキ	Nyctereutes procyonoides							
7			キツネ	Vulpes vulpus							
8	イタチ	イタチ属の一種	Mustela sp.								
合計	4目6科8種				4種	4種	3種	3種	5種	5種	4種

注1) 種名及び分類は「平成12年度版 河川水辺の国勢調査生物種目録」(財団法人リバーフロント整備センター)に従った。  
 注2) 外来種の選定根拠については「外来種ハンドブック」(日本生態学会編、2002)に従った。  
 注3) コウベモグラは塚・坑道の生息痕による確認であることから、分布域によりコウベモグラと同定した。  
 注4) コウモリ(翼手)目の一種はバットデテクターによる確認(周波数は約45kHz)のみであることから、コウモリ(翼手)目の一種と同定した。  
 注5) イタチ属の一種は足跡による確認であり、当該調査地に生息していると考えられるチョウセンイタチとイタチとの識別は困難であることから、イタチ属の一種と同定した。

表 加古川事前調査結果（両生類）

平成17年5～6月

	目名	科名	種名		St.1			St.2	St.3	St.4	St.5	備考
			和名	学名	St.1-1	St.1-2	St.1-3					
1	カエル	アマガエル	アマガエル	<i>Hyla japonica</i>								
2		アカガエル	トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>								
3			ヌマガエル	<i>Rana limnocharis</i>								
4			ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>								外来種
合計			1目2科4種		0種	3種	0種	3種	2種	1種	3種	-

注1) 種名及び分類は「平成12年度版 河川水辺の国勢調査生物種目録」(財団法人リバーフロント整備センター)に従った。  
 注2) 外来種の選定根拠については「外来種ハンドブック」(日本生態学会編、2002)に従った。

表 加古川事前調査結果（爬虫類）

平成17年5～6月

	目名	科名	種名		St.1			St.2	St.3	St.4	St.5	備考
			和名	学名	St.1-1	St.1-2	St.1-3					
1	カメ	イシガメ	クサガメ	<i>Chinemys reevesii</i>								
2			ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>								外来種
3			イシガメ	<i>Mauremys japonica</i>								
4	トカゲ	ヘビ	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>								
5			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>								
6			クサリヘビ	<i>Aqkistrodon blomhoffii</i>								
合計			2目3科5種		4種	2種	2種	1種	2種	2種	3種	-

注1) 種名及び分類は「平成12年度版 河川水辺の国勢調査生物種目録」(財団法人リバーフロント整備センター)に従った。  
 注2) 外来種の選定根拠については「外来種ハンドブック」(日本生態学会編、2002)に従った。

表 事前調査結果（陸上昆虫類）：地点別科種数

目名	St.1-1		St.1-2		St.1-3		St.2		St.3		St.4		St.5		合計	
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
クモ目	8	15	5	14	4	9	8	20	6	12	5	11	9	14	13	44
トビムシ目	1	1							1	1	1	1	2	2	2	2
カゲロウ目	3	3	1	1			3	3	2	2	2	2	1	1	5	6
トンボ目	2	3	5	7	1	1	1	2	2	2	1	1			5	8
バッタ目							2	4			1	1	1	1	2	4
ハサミムシ目			1	1					1	1					1	1
カメムシ目	9	20	13	24	4	6	10	21	6	9	9	16	9	13	19	51
アミメカゲロウ目	1	1	1	2	1	2	2	3			1	1	1	1	2	5
コウチュウ目	16	40	14	41	8	23	25	92	13	41	15	49	16	41	32	168
ハチ目	6	14	7	12	2	2	10	19	2	9	9	17	7	12	13	38
シリアゲムシ目							1	1	1	1			1	1	1	1
ハエ目	15	24	16	23	6	7	15	27	12	16	9	13	10	13	26	50
トビケラ目	4	5	5	5			5	10	5	9	4	10	9	13	9	19
チョウ目	11	20	11	29	5	5	15	56	6	6	9	21	10	14	23	95
合計	76	146	79	159	31	55	97	258	57	109	66	143	76	126	153	492

表 事前調査結果（陸上昆虫類）（1）

平成17年5月

No.	目名	科名	種名	学名	St.1-1	St.1-2	St.1-3	St.2	St.3	St.4	St.5
1	クモ目	ヒメグモ科	ツリガネヒメグモ属の一種	Achaearanea sp.							
2		サラグモ科	クロゲシグモ	Aqyneta nigra (Oi)							
3			コデーンツツサグモ	Doentzius pruvus Oi							
4			マルムネヒサグモ	Erigone edentata Saito & Ono							
5			ノコギリヒサグモ	Erigone prominens Bos. & Str.							
6			ニセアカムネグモ	Gnathonarium exsiccatum (Bos. & Str.)							
7			Nippononeta属の一種	Nippononeta sp.							
8			セシアカムネグモ	Ummeliata insecticeps (Bos. & Str.)							
9			アカムネグモ属の一種	Ummeliata sp.							
10			サラグモ科の一種	Linyphiidae sp.							
11		アシナガグモ科	トリアシナガグモ	Tetragnatha caudicula (Karsch)							
12			ヤサガタアシナガグモ	Tetragnatha maxillosa Thorell							
13			アシナガグモ	Tetragnatha praedonia L. Koch							
14			ウロコアシナガグモ	Tetragnatha squamata Karsch							
15			アシナガグモ属の一種	Tetragnatha sp.							
16		コガネグモ科	オニグモ属の一種	Araneus sp.							
17			コガネグモダマシ	Larinia argiopiformis Bos. & Str.							
18			コガネグモダマシ属の一種	Larinia sp.							
19			ドヨウオニグモ	Neoscona adianta (Walckenaer)							
20			コガネグモ科の一種	Araneidae sp.							
21		コモリグモ科	フジイコモリグモ	Arctosa fujii Tanaka							
22			イナダハリグモ科	Pardosa agraria Tanaka							
23			ハリグモ科	Pardosa laura Karsch							
24			オオアシコモリグモ属の一種	Pardosa sp.							
25			イモコモリグモ	Pirata piratoides (Bos. & Str.)							
26			キハラコモリグモ	Pirata subpiraticus (Bos. & Str.)							
27			カイロクコモリグモ属の一種	Pirata sp.							
28			アライトコモリグモ	Trochosa rutilata (De Geer)							
29			コモリグモ科の一種	Lycosidae sp.							
30		タナグモ科	タナグモ科の一種	Aqelenidae sp.							
31		ハグモ科	ハグモ科の一種	Dictyna sp.							
32		ガケシグモ科	ガケシグモ科の一種	Amaurobiidae sp.							
33		ウエムラグモ科	コツウラシマグモ	Phrurolithus sinicus Zhu & Mei							
34		フクログモ科	アシナガコマチグモ	Cheiracanthium eutittha Bos. & Str.							
35			カバキコマチグモ	Cheiracanthium japonicum Bos. & Str.							
36			コマチグモ属の一種	Cheiracanthium sp.							
37			マダラフクログモ	Clubiona deletrix O.P.-Cambridge							
38			フクログモ属の一種	Clubiona sp.							
39		ワシグモ科	エビチャヨリメケムリグモ	Drassyllus sanmenensis Platnick & Song							
40			メキリグモ	Gnaphosa kompirensis Bos. & Str.							
41		カニグモ科	ハナグモ	Misumenops tricuspidatus (Fabricius)							
42			ガザミグモ	Pistius undulatus Karsch							
43		ハエトリグモ科	オスクロハエトリ	Mendoza canestrinii (Niini in Canestrini & Pavei)							
44			Mendoza属の一種	Mendoza sp.							
45	トビムシ目	イボトビムシ科	イボトビムシ科の一種	Neanuridae sp.							
46		アヤトビムシ科	アヤトビムシ科の一種	Entomobryidae sp.							
47	カゲロウ目	カゲロウ科	フタバコカゲロウ	Baetiella japonica (Imanishi)							
48			Baetis属の一種	Baetis sp.							
49		ヒラタカゲロウ科	Ecdyonurus属の一種	Ecdyonurus sp.							
50		カウカゲロウ科	キイロカウカゲロウ	Potamanthus (Potamanthodes) formosus Eaton							
51		モンカゲロウ科	トウヨウモンカゲロウ	Ephemera orientalis McLachlan							
52		ヒメシロカゲロウ科	ヒメシロカゲロウ属の一種	Caenis sp.							
53	トンボ目	イトトンボ科	クロイトトンボ	Cercion calamorum calamorum (Ris)							
54			アジイトトンボ	Ischnura asiatica Brauer							
55			アオモンイトトンボ	Ischnura senegalensis (Rambur)							
56		カワトンボ科	ハグロトンボ	Calopteryx atrata Selys							
57		サナエトンボ科	ヤマサナエ	Asiagomphus melaenops (Selys)							
58		ヤンマ科	ギンヤンマ	Anax parthenope julius Brauer							
59		トンボ科	シオカラトンボ	Orthetrum albistylum speciosum (Uhler)							
60			コシアキトンボ	Pseudothemis zonata Burmeister							
61	ハツタ目	ハツタ科	ツチイチゴ	Patanga japonica (Bolivar)							
62		ヒシハツタ科	トゲヒシハツタ	Crietettix japonicus (de Haan)							
63			ハネナガヒシハツタ	Euparattix insularis Bei-Bienko							
64			ハラヒシハツタ	Tetrix japonica (Bolivar)							
65	ハサミムシ目	オオハサミムシ科	オオハサミムシ	Labidura riparia japonica (de Haan)							
66	カメムシ目	ヒシウカ科	Kuvera属の一種	Kuvera sp.							
67		アワフキムシ科	ハマベアワフキ	Aphrophora maritima Matsumura							
68			イシダアワフキ	Tabiphora ishidae (Matsumura)							
69		クロヒラタヨコバイ科	クロヒラタヨコバイ	Penthimia nitida Lethierry							
70		フトヨコバイ科	Paqaronia属の一種	Paqaronia sp.							
71		ヨコバイ科	ヨコバイ科の一種	Deltoccephalidae sp.							
72		キジラムシ科	キジラムシ科の一種	Psyllidae sp.							
73		アブラムシ科	アブラムシ科の一種	Aphididae sp.							
74		アメンボ科	アメンボ	Gerris (Aquarius) paludum paludum (Fabricius)							
75		ミスギウカメムシ科	ミスギウカメムシ属の一種	Saldula sp.							
76		コオイムシ科	コオイムシ	Diplonychus japonicus Vuillefroy							
77		カスミカメムシ科	ノイハラホソカスミカメ	Dicyphus miyamotoi Yasunaga							
78			ブチビゲクロカスミカメ	Adelphocoris triannulatus (Stal)							
79			ナカグロカスミカメ	Adelphocoris suturalis (Jakovlev)							
80			ツマグロアオカスミカメ	Apolyqus spinolae (Meyer-Dur)							
81			ニセフタモンアオカスミカメ	Apolyqus subhilaris Yasunaga							

表 事前調査結果（陸上昆虫類）（2）

No.	目名	科名	種名	学名	St.1-1	St.1-2	St.1-3	St.2	St.3	St.4	St.5
82			ツマグロハキカスミカメ	Apolyqus subpallidus Kerzhner							
83			ツヤコアオカスミカメ	Apolyqus wataii T.Yasunaga et M.Yasunaga							
84			Apolyqus属の一種	Apolyqus sp.							
85			セダカマルカスミカメ	Pachylvqus japonicus (Kerzhner)							
86			アカスジカスミカメ	Stenotus rubrovittatus Matsumura							
87			クロマルカスミカメ	Orthocephalus funestus Jakovlev							
88			ヒョウタンカスミカメ	Pilophorus setulosus Horvath							
89			キアシクロホソカスミカメ	Phylus miyamotoi Yasunaga							
90			シラゲヨモギカスミカメ	Plagiognathus albipennis (Fallen)							
91			ヒメヨモギカスミカメ	Plagiognathus yomogi Miyamoto							
92			クリトビカスミカメ	Psallus (Phylidea) castaeae Josifov							
93			カスミカメムシ科の一種	Miridae sp.							
94		ハナカメムシ科	コヒメハナカメムシ	Orius minutus (Linnaeus)							
95			ナミヒメハナカメムシ	Orius (Heterorius) sauteri (Poppius)							
96			タイリクヒメハナカメムシ	Orius (Heterorius) similis Zheng							
97		グンバイムシ科	アウダチソウグンバイ	Corythucha marmorata							
98		ナガカメムシ科	ヒメナガカメムシ	Nysius plebeius Distant							
99			Nysius属の一種	Nysius sp.							
100			コバネナガカメムシ	Dimorphopterus pallipes (Distant)							
101			ナガカメムシ科の一種	Lygaeidae sp.							
102		ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ	Riptortus clavatus (Thunberg)							
103		ヘリカメムシ科	ヒメトゲヘリカメムシ	Coriomeris scabicornis (Panzer)							
104			ホソハリカメムシ	Cletus punctiger (Dallas)							
105		ヒメヘリカメムシ科	アカヒメヘリカメムシ	Rhopalus maculatus (Fieber)							
106			ケバヒメヘリカメムシ	Rhopalus sapporensis (Matsumura)							
107			ブチビゲヘリカメムシ	Stictopleurus punctatonevrosus (Goeze)							
108		マルカメムシ科	マルカメムシ	Megacopta punctatissima (Montandon)							
109		カメムシ科	アカスジカメムシ	Graphosoma rubrolineatum (Westwood)							
110			ウスラカメムシ	Aelia fieberii Scott							
111			ナガメ	Eurvema rugosa Motschulsky							
112			トゲシラホシカメムシ	Eysarcoris aeneus Scopoli							
113			シラホシカメムシ	Eysarcoris ventralis (Westwood)							
114			アオクサカメムシ	Nezara antennata Scott							
115			イチモンジカメムシ	Piezodorus hybneri (Gmelin)							
116			チャバネアオカメムシ	Plautia crossota stali Scott							
117	アミメカゲロウ目	ヒメカゲロウ科	ミヤマヒメカゲロウ	Hemerobius humulinus Linnaeus							
118			Hemerobius属の一種	Hemerobius sp.							
119			ホソバヒメカゲロウ	Micromus multipunctatus Matsumura							
120		クサカゲロウ科	ヨツボシクサカゲロウ	Chrysopa (Chrysopa) pallens							
121			ニッポンクサカゲロウ	Chrysoperla carnea (Stephens)							
122	コウチュウ目	オサムシ科	エゾカタビロオサムシ	Campalita chinense (Kirby)							
123			ヤコンオサムシ	Carabus yaconinus yaconinus Bates							
124			カウチマルクビゴムシ	Nebria lewisi Bates							
125			アオミスギウゴムシ	Bembidion chloereum Bates							
126			ヒラタコムシクワゴムシ	Tachyura exarata (Bates)							
127			ウスモンコムシクワゴムシ	Tachyura fuscicauda (Bates)							
128			ヨツモンコムシクワゴムシ	Tachyura laetifica (Bates)							
129			キアシヌレシクワゴムシ	Patrobus flavipes Motschulsky							
130			トックリナガゴムシ	Pterostichus haptoderoides japonensis Lutshnik							
131			コホソナガゴムシ	Pterostichus longinquus Bates							
132			コガシラナガゴムシ	Pterostichus microcephalus (Motschulsky)							
133			キンナガゴムシ	Pterostichus planicollis (Motschulsky)							
134			オオクロナガゴムシ	Pterostichus prolongatus Morawitz							
135			アシミノナガゴムシ	Pterostichus sulcitaris Morawitz							
136			アオグロヒラタゴムシ	Anonum chalcocomus (Bates)							
137			タンゴヒラタゴムシ	Anonum leucopus (Bates)							
138			オオアオモリヒラタゴムシ	Colpodes buechanani Hope							
139			オオクロツヤヒラタゴムシ	Synuchus (Crepidactylia) nitidus (Motschulsky)							
140			ヒメツヤヒラタゴムシ	Synuchus (Synuchus) dulcigradus (Bates)							
141			ニセマルガタゴムシ	Amara (Amara) congrua Morawitz							
142			ホシボシゴムシ	Anisodactylus punctatipennis Morawitz							
143			オオホシボシゴムシ	Anisodactylus sadoensis Schaubberger							
144			キイロチビゴムシ	Acupalpus inornatus Bates							
145			キベリゴムシ	Anoploenus cyanescens (Hope)							
146			ミドリメゴムシ	Stenolophus difficilis (Hope)							
147			マメゴムシ	Stenolophus fulvicornis Bates							
148			ニセコガシラアオゴムシ	Chlaenius kurosawai Kasahara							
149			アトボシアオゴムシ	Chlaenius naeviger Morawitz							
150			アオゴムシ	Chlaenius pallipes Gebler							
151			キボシアオゴムシ	Chlaenius posticalis Motschulsky							
152			コガシラアオゴムシ	Chlaenius varicornis Morawitz							
153			スジスアトキリゴムシ	Apristus grandis Andrewes							
154			クビボソゴムシ	Galerita orientalis Schmidt-Gobel							

表 事前調査結果(陸上昆虫類)(3)

No.	目名	科名	種名	学名	St.1-1	St.1-2	St.1-3	St.2	St.3	St.4	St.5
164			オオマルズハネカクシ	Domene crassicornis (Sharp)							
165			アオバアリガタハネカクシ	Paederus fuscipes (Curtis)							
166			ウスアカハソハネカクシ	Othius medius Sharp							
167			クロサビハネカクシ	Ocyopus lewisii Sharp							
168	マルハナノミ科		トビロマルハナノミ	Scirtes japonicus Kiesenwetter							
169	クワガタムシ科		ヒラタクワガタ	Serrognathus platymelus pilifer (Snellen van Vollenhoven)							
170	コガネムシ科		ホソケシマゴソコガネ	Trichiorhyssemus asperulus (Waterhouse)							
171			クロコガネ	Holotrichia kitoensis Brenske							
172			コクロコガネ	Holotrichia picea Waterhouse							
173			ヒメビロウドコガネ	Maladera orientalis (Motschulsky)							
174			ダイセンビロウドコガネ	Nipponoserica daisensis daisensis (Sawada)							
175			コイチャコガネ	Adoretus tenuimaculatus Waterhouse							
176			ドウガネブイブイ	Anomala cuprea (Hope)							
177			ハンノヒメコガネ	Anomala puncticollis Harold							
178			ヒメコガネ	Anomala rufocuprea Motschulsky							
179			カタモノコガネ	Birtoertha conspurcata (Harold)							
180			セマダラコガネ	Birtoertha orientalis (Waterhouse)							
181			マメコガネ	Popillia japonica Newmann							
182			コアハナムグリ	Oxycetonia jucunda (Faldernann)							
183	マルトゲムシ科		シロチンハナムグリ	Protactia orientalis submarumorea (Burmeister)							
184			シラフチマルトゲムシ	Simplocaria bicolor Pic							
185	ヒラタドロムシ科		チビヒゲナガハナム	Ectopria opaca (Kiesenwetter)							
186			クシヒゲマルヒラタドロムシ	Eubrianax granicollis Lewis							
187			マダチチビヒラタドロムシ	Psephenoides japonicus Masuda							
188	ナガドロムシ科		タテシナガドロムシ	Heterocerus fenestratus Thunberg							
189	タマムシ科		シラゲナガタマムシ	Agrilus pilosovittatus E.Saunders							
190			クスノチビタマムシ	Trachys auricollis E.Saunders							
191	コムツキムシ科		ヒゲコムツキ	Pectocera fortunei Candeze							
192			マダラチビコムツキ	Aeoloderma agnatum (Candeze)							
193			サビキコリ	Agrypnus binodulus binodulus (Motschulsky)							
194			ホソサビキコリ	Agrypnus fuliginosus (Candeze)							
195			アカアサシオクシコムツキ	Melanotus cete Candeze							
196			クシコムツキ	Melanotus legatus legatus Candeze							
197			クワクシコムツキ	Melanotus senilis senilis Candeze							
198			ヨツモンミズキコムツキ	Miqiwa quadrillum (Candeze)							
199			クワヤミズキコムツキ	Neohypdonus telluris (Lewis)							
200	ジョウカイボン科		ムネアカクジョウカイ	Athemellus adusticollis (Kiesenwetter)							
201			ジョウカイボン	Athemus suturellus suturellus (Motschulsky)							
202			セボシジョウカイ	Athemus vitellinus (Kiesenwetter)							
203			クビボシジョウカイ	Podabrus heydeni Kiesenwetter							
204			カラニンジョウカイ	Podabrus ovarianus							
205			ホツカイジョウカイ	Wittmercantharis vulcana (Lewis)							
206			エグリマジョウカイ	Podosilis omissa (Wittmar)							
207	カッツオブシムシ科		ヒメマルカッツオブシムシ	Anthrenus verbasci (Linnaeus)							
208	ジョウカイモドキ科		ツマキアジョウカイモドキ	Malachius prolongatus Motschulsky							
209	ケシキスイ科		クリイロケシキスイ	Carpophilus marginellus Motschulsky							
210			クロモンムクケシキスイ	Aethina maculicollis Reitter							
211			モンチヒヒラタケシキスイ	Haptoncus ocellaris (Fairmaire)							
212	キスイムシ科		ケナガセマルキスイ	Atomaria horridula Reitter							
213	テントウムシ科		バババテントウ	Scymnus (Neopullus) babai Sasai							
214			クロヘリヒメテントウ	Scymnus (Neopullus) hoffmanni Weise							
215			クロヒメテントウ	Scymnus (Pullus) posticalis Sicard							
216			ムーアシロホシテントウ	Calvia (Eccaria) mui (Timberlake)							
217			ナナホシテントウ	Coccinella septempunctata Linnaeus							
218			ナミテントウ	Harmonia axyridis (Pallas)							
219			ジョウサンホシテントウ	Hippodamia tredecimpunctata timberlakei Capra							
220			ヒメカメノコテントウ	Propylea japonica (Thunberg)							
221	ヒメマキムシ科		ウスチャケシマキムシ	Corticaria gibbosa (Herbst)							
222	ハナノミ科		クロヒメハナノミ	Mordellistena comes Marseul							
223	カミキリモドキ科		モモブカミキリモドキ	Oedemerina lucidicollis (Motschulsky)							
224			アオカミキリモドキ	Xanthochroa waterhousei Harold							
225	アリモドキ科		ヨツボシホソアリモドキ	Pseudoleptaleus valipes (Marseul)							
226	ハナノミダマシ科		クロフナガタハナノミ	Anaspis marseuli Csiki							
227	クチキムシ科		クチキムシ	Allecula melanaria Maklin							
228			クリイロクチキムシ	Borboresthes acicularis (Marseul)							
229	ゴミムシダマシ科		ヒメナゴミムシダマシ	Gonocephalum persimile (Lewis)							
230			スジコガシラゴミムシダマシ	Heterotarsus carinula Marseul							
231	カミキリムシ科		ヒメクロドラカミキリ	Rhaphuma diminuta (Bates)							
232			ベニカミキリ	Purpuricenus temminckii (Guerin-Meneville)							
233			コブシサビカミキリ	Atimura japonica Bates							
234			ピンカミキリ	Microlera ptinoides Bates							
235			シロスジカミキリ	Batocera lineolata Chevrolat							
236			ラミーカミキリ	Paraleneia fortunei (Saunders)							
237			キウスイカミキリ	Phytoecia rufiventris Gautier							
238	ハムシ科		スゲクビソハムシ	Lema diecta Baly							
239			キイロナガツハムシ	Smaragdina nipponensis (Chujo)							
240			ムナキリハムシ	Smaragdina semiaurantiaca (Fairmaire)							
241			ハラルリツツハムシ	Cryptoccephalus approximatus Baly							
242			ドウガネツツハムシ	Oomorphoides cupreatus (Baly)							
243			アオハネサルハムシ	Basilepta fulvipes (Motschulsky)							
244			イモサルハムシ	Colasposoma dauricum Mannerheim							
245			ヨモキハムシ	Chrysolina aurichalcea (Mannerheim)							

表 事前調査結果(陸上昆虫類)(4)

No.	目名	科名	種名	学名	St.1-1	St.1-2	St.1-3	St.2	St.3	St.4	St.5
246			ヤナギハムシ	Chrysomela vigintipunctata (Scopoli)							
247			コガタリハムシ	Gastrophysa atrocyanea Motschulsky							
248			ヤツボシハムシ	Goniocena nigroplagiata Baly							
249			フジハムシ	Goniocena rubripennis Baly							
250			ヤナギルリハムシ	Plagioderia versicolora (Laicharting)							
251			ウリハムシ	Aulacophora femoralis (Motschulsky)							
252			クロウリハムシ	Aulacophora nigripennis Motschulsky							
253			クワハムシ	Fleutiauxia armata (Baly)							
254			ニレハムシ	Pyrrhalta maculicollis (Motschulsky)							
255			ルリウスバハムシ	Stenoluperus cyaneus (Baly)							
256			オオアカマルハムシ	Aroopus chryseus Baly							
257			ススキミドリハムシ	Crepidodera sahalinensis Konstantinov							
258			オオハコトビハムシ	Lonitarsus scutellaris (Rey)							
259			ルリマルハムシ	Nonarthra cyanea Baly							
260			チャハネツツハムシ	Phvgasia fulvipennis (Baly)							
261			キスジハムシ	Phyllotreta striolata (Fabricius)							
262			ダイコンナガスネトビハムシ	Psylliodes subrugosa Jacoby							
263	オトシブミ科		クロケシツブチョッキ	Auletobius (Aletinus) uniformis (Roelofs)							
264	ホソクテソウムシ科		ケブカホソクテソウムシ	Apion griseopubescens Roelofs							
265	ソウムシ科		イコマケソウムシ	Trachyphloeosoma advena Zimmerman							
266			シロコソウムシ	Episomus turritus (Gyllenhal)							
267			ワモンヒョウタンソウムシ	Sympiezomias lewisi (Roelofs)							
268			コソウムシ	Eugnathus distinctus Roelofs							
269			チビコソウムシ	Sitona japonicus Roelofs							
270			アルファルファコソウムシ	Hypera postica (Gyllenhal)							
271			ヤサイソウムシ	Listroderes costirostris Schoenherr							
272			ナガカツソウムシ	Lixus depressipennis Roelofs							
273			カッツソウムシ	Lixus impressiventris Roelofs							
274			モンイネソウムシ	Dorytomus maculipennis Roelofs							
275			エノキソウムシ	Rhynchaenus (Orchestes) horii Kono							
276			カシノソウムシ	Rhynchaenus (Orchestes) japonicus (Hustache)							
277			ニレソウムシ	Rhynchaenus (Orchestes) mutabilis (Boheman)							
278			イチゴハナムシ	Anthonomus bisignifer Schenkling							
279			ジュウジチビソウムシ	Curculio pictus (Roelofs)							
280			クワソウムシ	Baris deplanata Roelofs							
281			コブナシクテソウムシ	Rhinoncus perpendicularis Reich							
282			タデノクテソウムシ	Rhinoncus sibiricus Faust							
283			ダイコンサルソウムシ	Ceuthorrhynchus albosuturalis (Roelofs)							
284			アオハネサルソウムシ	Ceuthorrhynchus ibukianus Hustache							
285			カナムグラサルソウムシ	Ceuthorrhynchus shaowuensis Voss							
286			カナムグラサルソウムシ	Homorosoma chinense Wagner							
287			フタキソウムシ	Lepyrus japonicus Roelofs							
288			マダラアソウムシ	Ectatorhinus adamsii Pascoe							
289	オサソウムシ科		ニセキイサソウムシ	Dryophthoroides sulcatus Roelofs							
290	ハチ目	ハチ科	クシビゲハチ	Claudius pectinicornis (Geoffroy)							
291			キコソハチ	Tenthredo mortivaga Marlatt							
292			ハチ科の一種	Tenthredinidae sp.							
293			コマコハチ科の一種	Braconidae sp.							
294			ヒメバチ科の一種	Ichneumonidae sp.							
295			ムカシアリガタハチ	Acrepynus japonicus (Yasumatsu)							
296			アリガタハチ	Campsomerella (Annulimeris) annulata annulata (Fabricius)							
297			ツチバチ科	Crematogaster (Crematogaster) matsumurai matsumurai Forel							
298			アリ科	キイロシリアゲアリ							
299			ムネボソアリ	Leptothorax congruus F.Smith							
300			クロヒメアリ	Monomorium chinense Santschi							
301			ヒメアリ	Monomorium intrudens F.Smith							
302			ヒラタウロコアリ	Pentastroma canina Brown et Boisvert							
303			アミメアリ	Pristomyrmex pungens Mayr							
304			トフシアリ	Solenopsis japonica Wheeler							
305			トビイロシワアリ	Tetramorium caespitum (Linnaeus)							
306			ルリアリ	Iridomyrmex itoi Forel							
307			ウメマツオアリ	Camponotus (Myrmamblyus) tokioensis Ito							
308			クロヤマアリ	Formica (Serviformica) japonica Motschulsky							
309			トビイロケアリ	Lasius (Lasius) niger (Linnaeus)							
310			カワラケアリ	Lasius (Lasius) sakaquarii Yamauchi et Hayashida							
311			アメイロアリ	Paratrechina flavipes (F.Smith)							
312			サクラアリ	Paratrechina sakurae (Ito)							
313			アリ科の一種	Formicidae sp.							
314	ベッコウバチ科		オオモンクベッコウ	Anoplius (Lophopompilus) samariensis (Pallas)							
315			ベッコウバチ科の一種	Pompilidae sp.							
316	ドロバチ科		カタグロチドロバチ	Stenodynerus similimus Sk.Yamane et Gusenleitner							
317	スズメバチ科		セグロアシナガバチ	Polistes jadwigae jadwigae Dalla Torre							
318	コハナバチ科		アカガネコハナバチ	Halictus (Seladonia) aerarius Smith							

